

Hokuyo Investigation Report

# ほくよう 調査レポート

No.286

- 道内経済の動き
- 道内企業の経営動向調査  
(2020年1～3月期実績、2020年4～6月期見通し)
- 経営のアドバイス  
社員定着化のための対応ポイント
- 経済コラム 北斗星  
新型コロナウイルスの猛威と難局への対応

2020

5

● 目 次 ●

|   |    |
|---|----|
| 道内経済の動き                                       | 1  |
| 定例調査：道内企業の経営動向調査                              | 6  |
| 経営のポイント：新型コロナウイルス感染症拡大が幅広い業種に<br>影響。先行きにも不安の声 | 15 |
| 経営のアドバイス：社員定着化のための対応ポイント                      | 18 |
| 経済コラム 北斗星：新型コロナウイルスの猛威と<br>難局への対応             | 24 |
| 主要経済指標  | 26 |



# 道内経済の動き

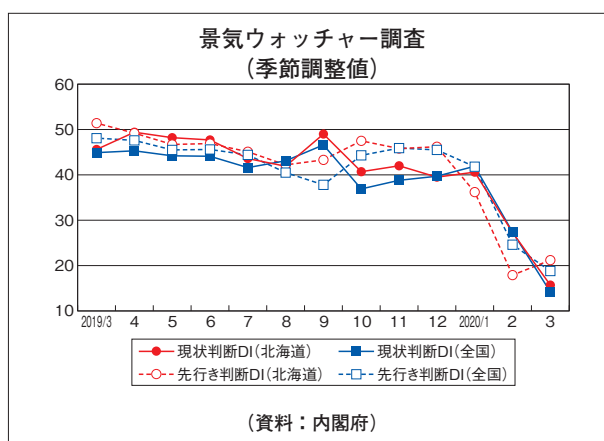
道内景気は、新型コロナウイルス感染症による下押し圧力が続く中、弱い動きとなっている。生産活動は弱めの動きとなっている。需要面をみると、個人消費は、一部に弱さがみられる。住宅投資は、減少基調にある。設備投資は、基調として緩やかに持ち直している。公共投資は、堅調に推移している。輸出は、弱含みとなっている。観光は、来道者数、外国人入国者数ともに前年を下回っている。

雇用情勢は、有効求人倍率が2か月連続で前年を下回った。企業倒産は、件数が前年を下回った。消費者物価は、39か月連続で前年を上回っている。

## 1. 景気の現状判断DI～2か月連続で低下

景気ウォッチャー調査による、3月の景気の現状判断DI（北海道）は前月を11.6ポイント下回る15.7に低下した。横ばいを示す50を13か月連続で下回った。

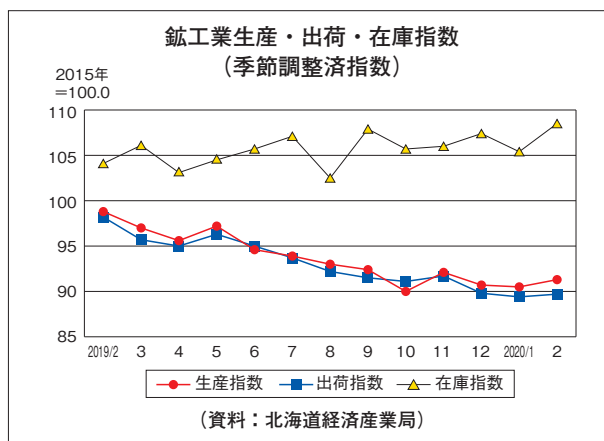
景気の先行き判断DI（北海道）は、前月を3.3ポイント上回る21.2となった。横ばいを示す50は12か月連続で下回った。



## 2. 鉱工業生産～3か月ぶりに上昇

2月の鉱工業生産指数は91.3（季節調整済指数、前月比+0.9%）と3か月ぶりに上昇した。前年比（原指数）では▲6.7%と5か月連続で低下した。

業種別では、輸送機械工業等9業種が前月比上昇となった。一般機械工業等6業種が前月比低下となった。

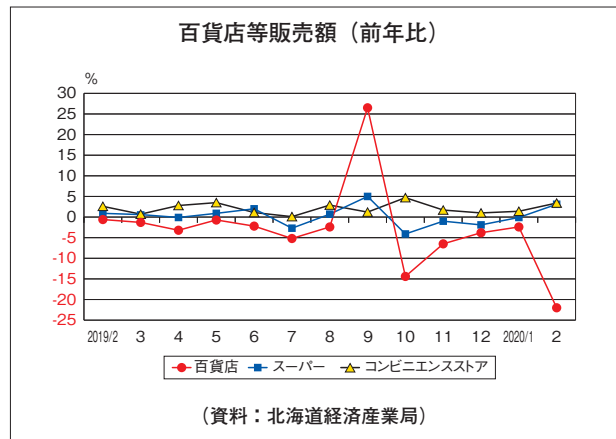


### 3. 百貨店等販売額～5か月連続で減少

2月の百貨店・スーパー販売額（全店ベース、前年比▲2.2%）は、5か月連続で前年を下回った。

百貨店（前年比▲22.0%）は、すべての品目が前年を下回った。スーパー（同+3.1%）は、飲食料品、その他が前年を上回った。

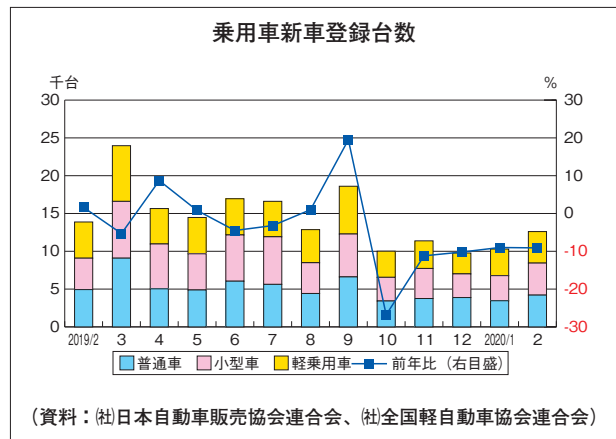
コンビニエンスストア（前年比+3.4%）は、16か月連続で前年を上回った。



### 4. 乗用車新車登録台数～5か月連続で減少

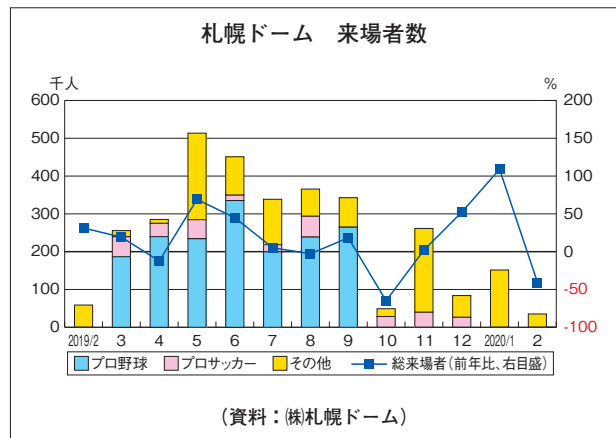
2月の乗用車新車登録台数は、12,608台（前年比▲9.1%）と5か月連続で前年を下回った。車種別では、普通車（同▲14.8%）、小型車（同+1.9%）、軽乗用車（同▲13.0%）となった。

年度累計では、149,241台（前年比▲3.4%）と前年を下回っている。内訳は普通車（同▲1.5%）、小型車（同▲5.0%）、軽乗用車（同▲3.8%）となった。



### 5. 札幌ドーム来場者～4か月ぶりに減少

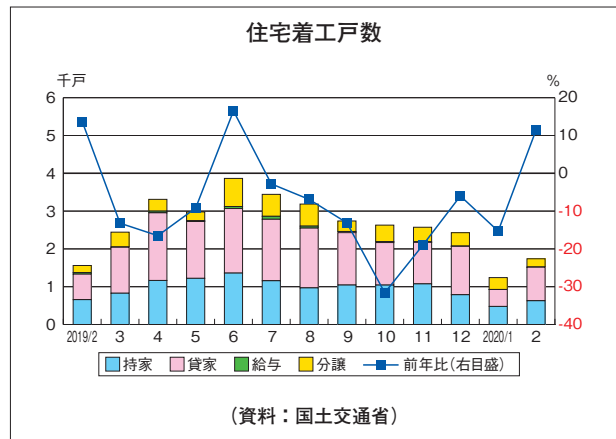
2月の札幌ドームへの来場者数は、35千人（前年比▲40.2%）と4か月ぶりに前年を下回った。内訳は、プロ野球、サッカーの開催はなく、その他が35千人（同▲40.2%）だった。



## 6. 住宅投資～8か月ぶりに増加

2月の住宅着工戸数は1,739戸（前年比+11.4%）と8か月ぶりに前年を上回った。利用関係別では、持家（同▲4.4%）、貸家（同+31.5%）、給与（同▲95.3%）、分譲（同+19.4%）となった。

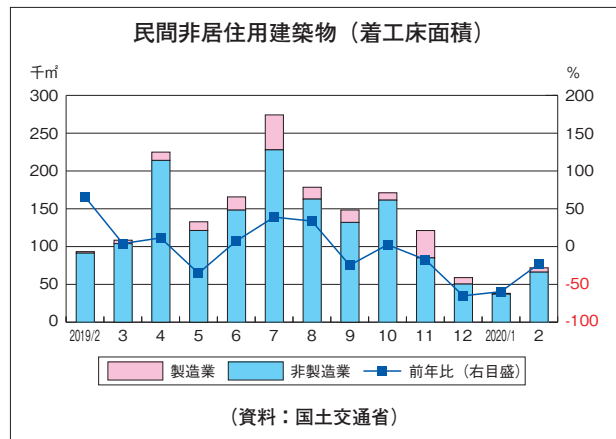
年度累計では30,134戸（前年比▲9.6%）と前年を下回った。利用関係別では、持家（同+0.2%）、貸家（同▲21.2%）、給与（同▲20.5%）、分譲（同+21.1%）となった。



## 7. 建築物着工床面積～4か月連続で減少

2月の民間非居住用建築物着工面積は、71,893㎡（前年比▲23.0%）と4か月連続で前年を下回った。業種別では、製造業（同+180.9%）、非製造業（同▲27.5%）であった。

年度累計では、1,586,019㎡（前年比▲9.9%）と前年を下回っている。業種別では、製造業（同+27.9%）、非製造業（同▲13.2%）となった。

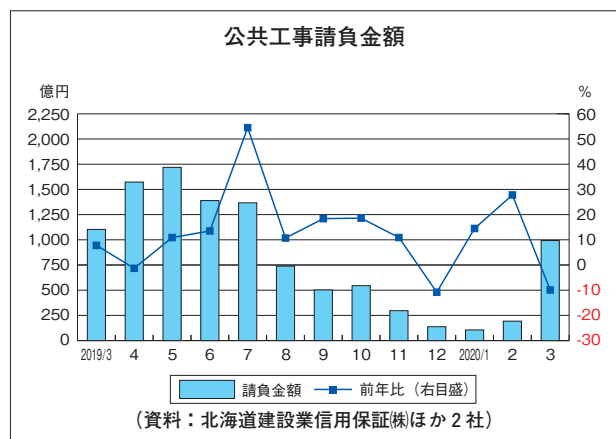


## 8. 公共投資～3か月ぶりに減少

3月の公共工事請負金額は993億円（前年比▲9.9%）と3か月ぶりに前年を下回った。

発注者別では、独立行政法人（同▲37.2%）、道（同▲20.9%）、市町村（同▲29.3%）が前年を下回った。国（同+10.7%）、地方公社（同全増）、その他（同+58.0%）が前年を上回った。

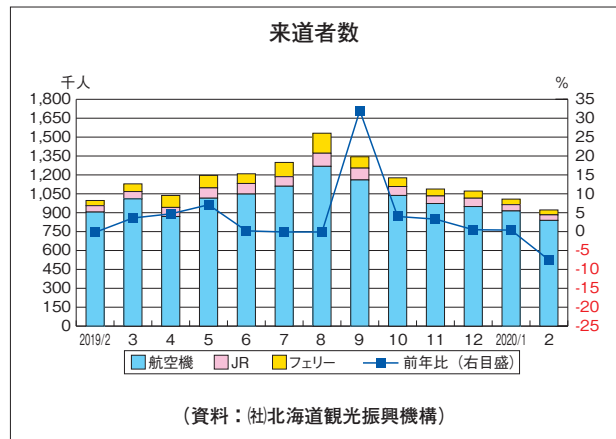
年度累計では、9,562億円（同+11.5%）と前年を上回っている。



### 9. 来道者数～6か月ぶりに減少

2月の国内輸送機関利用による来道者数は、922千人（前年比▲7.5%）と6か月ぶりに前年を下回った。輸送機関別では、航空機（同▲7.3%）、JR（同▲13.3%）、フェリー（同▲4.3%）となった。

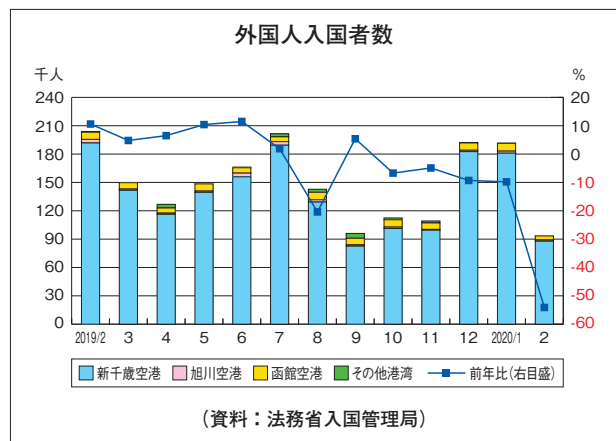
年度累計では、12,883千人（同+3.7%）と前年を上回っている。



### 10. 外国人入国者数～5か月連続で減少

2月の道内空港・港湾への外国人入国者数は、93,519人（前年比▲54.1%）と5か月連続で前年を下回った。空港・港湾別では、新千歳空港が87,823人（前年比▲54.2%）、旭川空港が1,306人（同▲65.2%）、函館空港が4,258人（同▲44.3%）となった。

年度累計では、1,580,402人（同▲8.9%）と前年を下回っている。



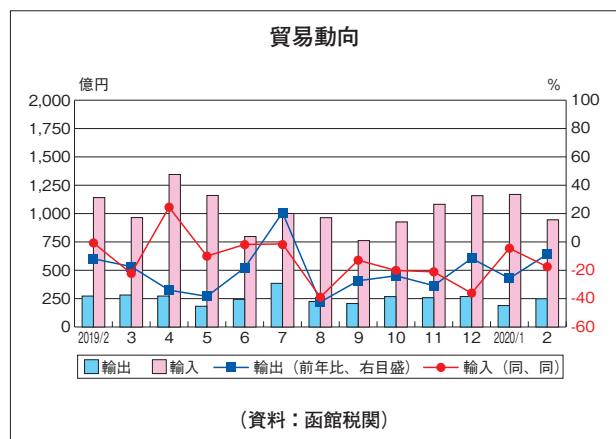
### 11. 貿易動向～輸出が7か月連続で減少

2月の貿易額は、輸出が前年比▲8.7%の250億円、輸入が同▲17.5%の945億円だった。

輸出は、有機化合物、鉍物性タール・粗製薬品、鉄鋼くずなどが減少した。

輸入は、石油製品、一般機械、肥料などが減少した。

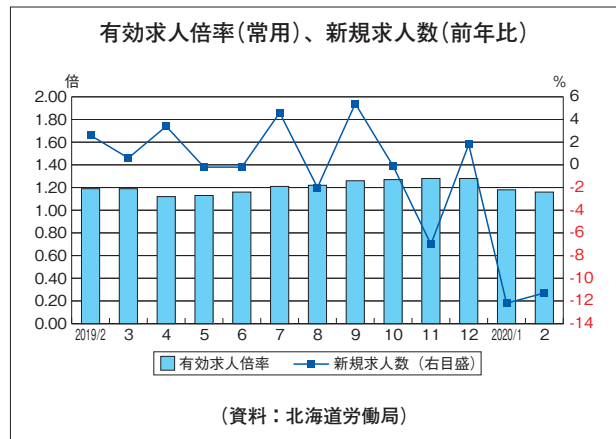
輸出は、年度累計では2,750億円（前年比▲22.8%）と前年を下回っている。



## 12. 雇用情勢～有効求人倍率が2か月連続で低下

2月の有効求人倍率（パートを含む常用）は、1.16倍（前年比▲0.03ポイント）と2か月連続で前年を下回った。

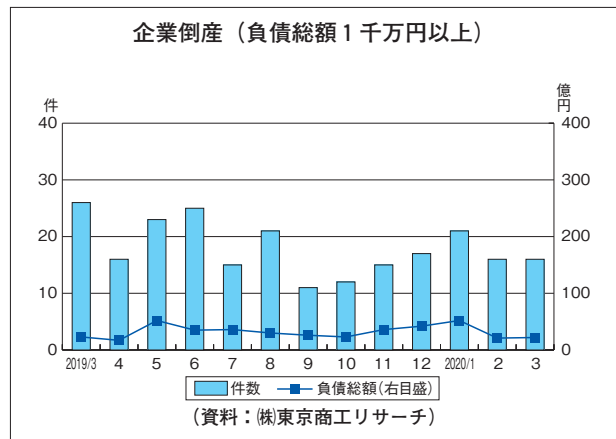
新規求人数は、前年比▲11.3%と2か月連続で前年を下回った。業種別では、卸売業・小売業（同▲21.2%）、建設業（同▲17.8%）、サービス業（同▲16.1%）などが前年を下回った。



## 13. 倒産動向～件数は3か月ぶりに減少

3月の企業倒産は、件数が16件（前年比▲38.5%）、負債総額が22億円（同▲4.1%）だった。件数は3か月ぶりに前年を下回った。

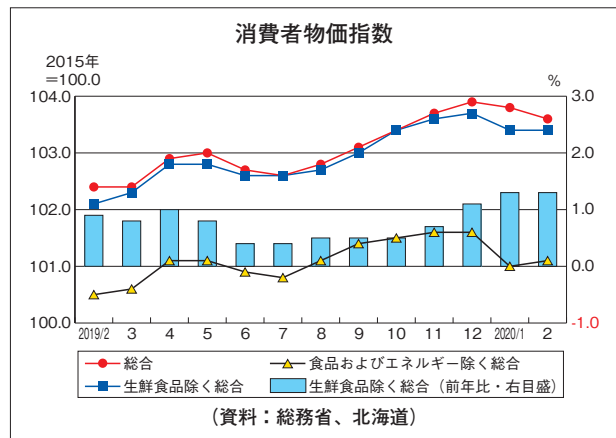
業種別ではサービス・他が6件、一次産業が3件などとなった。



## 14. 消費者物価指数～39か月連続で前年を上回る

2月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は、103.4（前月比±0.0%）となった。前年比は+1.3%と、39か月連続で前年を上回った。

生活関連重要商品等の価格について、2月の動向をみると、食料品・日用雑貨等の価格は、おおむね安定している。石油製品の価格は調査基準日（2月10日）時点で前月比、灯油は値上がりし、ガソリン価格は値下がりした。





# 売上DI・利益DIは全業種でマイナス圏に低下

## 第76回 道内企業の経営動向調査

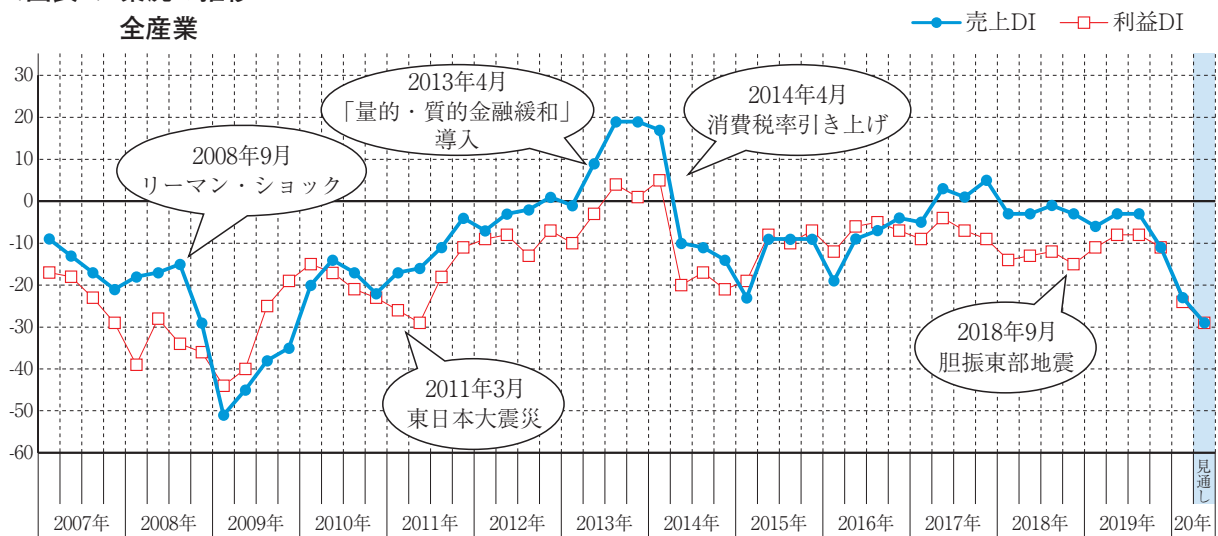
### 1. 2020年1～3月期 実績

前期に比べ、売上DI (△23) は12ポイント低下、利益DI (△24) は13ポイント低下し、業況は2期連続の低下となった。新型コロナウイルス感染症拡大による下押し圧力が各方面に見られ、売上DI・利益DIは全業種でマイナス圏に低下した。

### 2. 2020年4～6月期 見通し

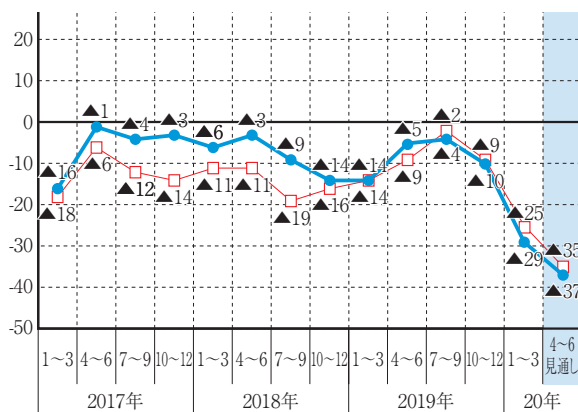
前期に比べ、売上DI (△29) は6ポイントの低下、利益DI (△29) は5ポイントの低下と、業況の低下が続く見通しで、新型コロナウイルス感染症拡大などにより先行に不透明感がみられる。製造業、非製造業ともに売上DI、利益DIがさらに低下する見通し。

<図表1>業況の推移  
全産業

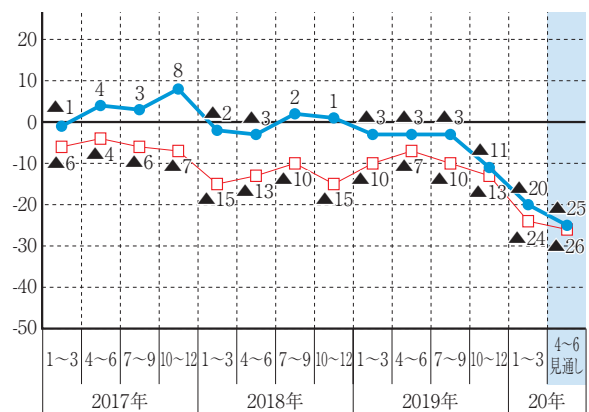


| 項目   | 2017年 |     |     |       | 2018年 |     |     |       | 2019年 |     |     |       | 2020年 |            |
|------|-------|-----|-----|-------|-------|-----|-----|-------|-------|-----|-----|-------|-------|------------|
|      | 1～3   | 4～6 | 7～9 | 10～12 | 1～3   | 4～6 | 7～9 | 10～12 | 1～3   | 4～6 | 7～9 | 10～12 | 1～3   | 4～6<br>見通し |
| 売上DI | △5    | 3   | 1   | 5     | △3    | △3  | △1  | △3    | △6    | △3  | △3  | △11   | △23   | △29        |
| 利益DI | △9    | △4  | △7  | △9    | △14   | △13 | △12 | △15   | △11   | △8  | △8  | △11   | △24   | △29        |

### 製造業



### 非製造業





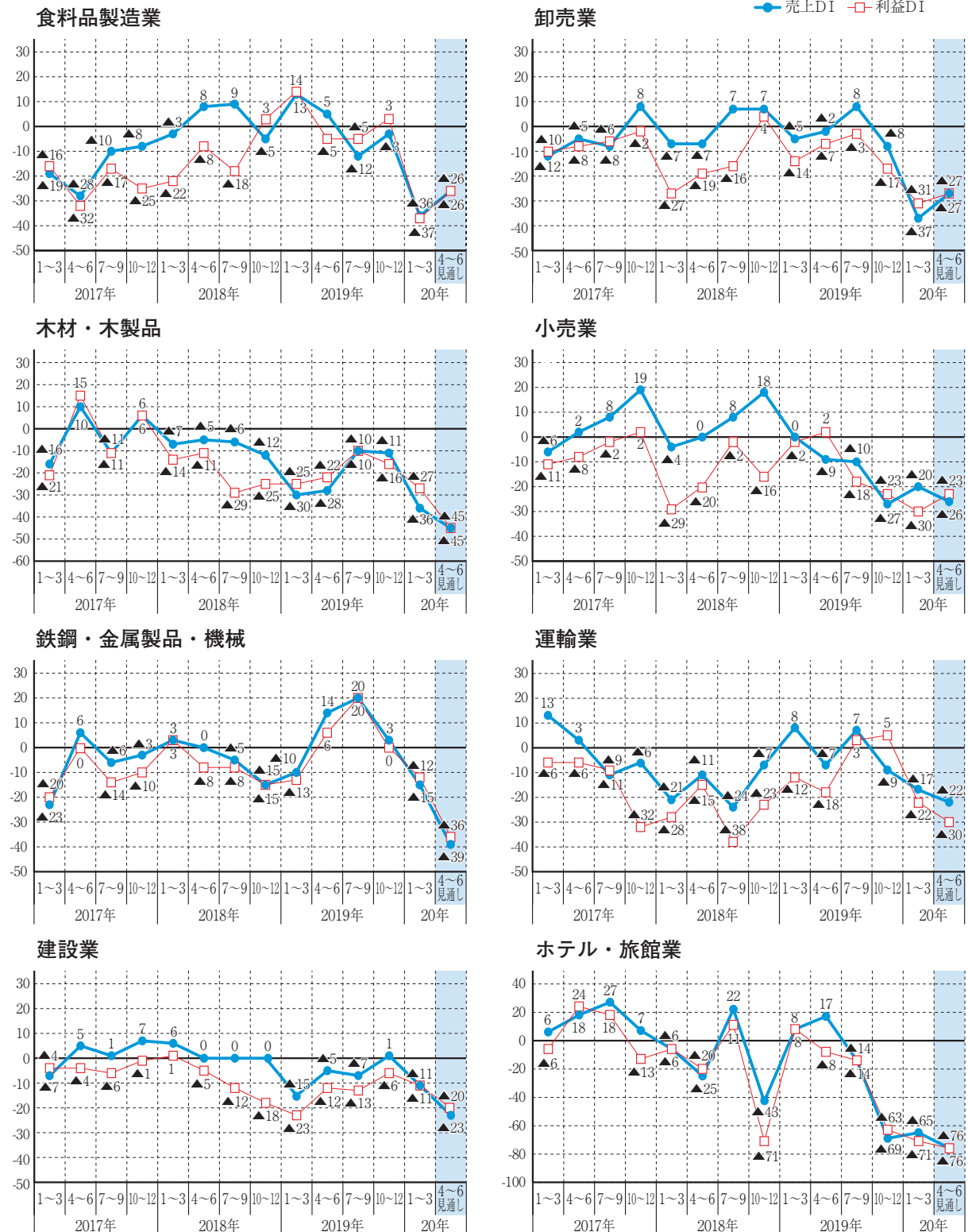
<図表 2-1>業種別の要点

|            | 要 点<br>(2020年1～3月期実績)                                 | 2019年 | 2019年 | 2019年 | 2020年 |       | 2020年 |     |
|------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
|            |   | 4～6   | 7～9   | 10～12 | 1～3   | 4～6   |       |     |
|            |   | 実績    | 実績    | 実績    | 実績    | 前回見通し | 見通し   |     |
| 全産業        | 新型コロナウイルス感染症拡大による下押し圧力が各方面に見られ、全ての業種で売上DI・利益DIがマイナス圏。 | 売上D I | △3    | △3    | △11   | △23   | △14   | △29 |
|            |   | 利益D I | △8    | △8    | △11   | △24   | △18   | △29 |
| 製造業        | 全ての業種で業況後退。   | 売上D I | △5    | △4    | △10   | △29   | △11   | △37 |
|            |   | 利益D I | △9    | △2    | △9    | △25   | △14   | △35 |
| 食料品        | 全ての業態で売上DI・利益DIともマイナス圏に低下。特に畜産・製菓が大幅に低下。              | 売上D I | 5     | △12   | △3    | △36   | 0     | △26 |
|            |   | 利益D I | △5    | △5    | 3     | △37   | △5    | △26 |
| 木材・木製品     | 製材業・木製品製造業ともに、売上DIがマイナス圏に低下。                          | 売上D I | △28   | △10   | △11   | △36   | △21   | △45 |
|            |   | 利益D I | △22   | △10   | △16   | △27   | △11   | △45 |
| 鉄鋼・金属製品・機械 | 全ての業態で売上DIが低下。鉄鋼・機械製造業の落込み幅が大きい。                      | 売上D I | 14    | 20    | 3     | △15   | △8    | △39 |
|            |   | 利益D I | 6     | 20    | 0     | △12   | △11   | △36 |
| 非製造業       | 全ての業種で業況後退。   | 売上D I | △3    | △3    | △11   | △20   | △16   | △25 |
|            |   | 利益D I | △7    | △10   | △13   | △24   | △19   | △26 |
| 建設業        | 公共工事は小幅に改善。民間工事は業況後退傾向。                               | 売上D I | △5    | △7    | 1     | △11   | △12   | △23 |
|            |   | 利益D I | △12   | △13   | △6    | △11   | △19   | △20 |
| 卸売業        | 全ての業態で売上DI・利益DIがマイナス圏に低下。                             | 売上D I | △2    | 8     | △8    | △37   | △23   | △27 |
|            |   | 利益D I | △7    | △3    | △17   | △31   | △25   | △27 |
| 小売業        | 食品小売業、燃料店以外は売上DI・利益DIがマイナス圏に低下。                       | 売上D I | △9    | △10   | △27   | △20   | △23   | △26 |
|            |   | 利益D I | 2     | △18   | △23   | △30   | △23   | △23 |
| 運輸業        | 旅客の業況が大幅に後退。  | 売上D I | △7    | 7     | △9    | △17   | △9    | △22 |
|            |   | 利益D I | △18   | 3     | 5     | △22   | △18   | △30 |
| ホテル・旅館業    | 利益DIが悪化。  | 売上D I | 17    | △14   | △69   | △65   | △13   | △76 |
|            |   | 利益D I | △8    | △14   | △63   | △71   | △13   | △76 |

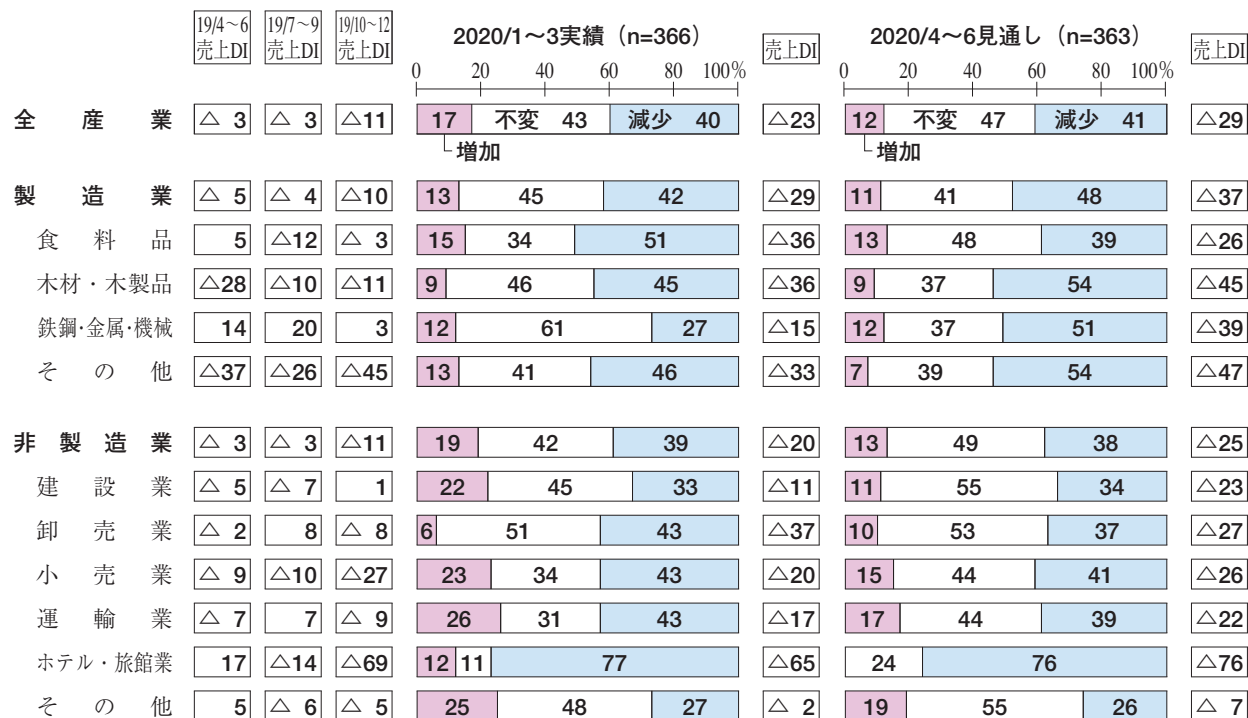
<図表 2-2>地域別業況の推移

|               |       | 2017年 | 2017年 | 2018年 | 2018年 | 2018年 | 2018年 | 2019年 | 2019年 | 2019年 | 2019年 | 2020年 |     | 2020年 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|
|               |       | 7～9   | 10～12 | 1～3   | 4～6   | 7～9   | 10～12 | 1～3   | 4～6   | 7～9   | 10～12 | 1～3   | 実績  | 前回見通し |
|               |       | 実績    | 実績    | 実績    | 実績    | 実績    | 実績    | 実績    | 実績    | 実績    | 実績    | 実績    | 見通し | 見通し   |
| 全 道           | 売上D I | 1     | 5     | △3    | △3    | △1    | △3    | △6    | △3    | △3    | △11   | △23   | △14 | △29   |
|               | 利益D I | △7    | △9    | △14   | △13   | △12   | △15   | △11   | △8    | △8    | △11   | △24   | △18 | △29   |
| 札幌市           | 売上D I | 4     | 6     | △1    | △4    | △2    | 1     | △6    | 0     | 7     | △6    | △13   | △13 | △24   |
|               | 利益D I | △5    | △12   | △16   | △16   | △16   | △7    | △9    | 0     | △5    | △10   | △17   | △17 | △22   |
| 道 央<br>(札幌除く) | 売上D I | 10    | 3     | 6     | 15    | 18    | △1    | △5    | △5    | △5    | △16   | △36   | △19 | △23   |
|               | 利益D I | △8    | △3    | △3    | 4     | 8     | △13   | △9    | △14   | △3    | △5    | △34   | △17 | △27   |
| 道 南           | 売上D I | △43   | △13   | △29   | △13   | △15   | △5    | 10    | 16    | △19   | △12   | △29   | △12 | △41   |
|               | 利益D I | △46   | △36   | △36   | △27   | △35   | △49   | △15   | △11   | △26   | △7    | △18   | △22 | △35   |
| 道 北           | 売上D I | 4     | 11    | △10   | 0     | △2    | 4     | △9    | △6    | △12   | △6    | △25   | △9  | △36   |
|               | 利益D I | 4     | 2     | △6    | △2    | △2    | 13    | △4    | △6    | △8    | △11   | △27   | △17 | △38   |
| 道 東           | 売上D I | 3     | 10    | 0     | △20   | △15   | △18   | △14   | △19   | △7    | △21   | △22   | △16 | △32   |
|               | 利益D I | 0     | △3    | △17   | △26   | △25   | △36   | △19   | △19   | △9    | △25   | △31   | △18 | △36   |

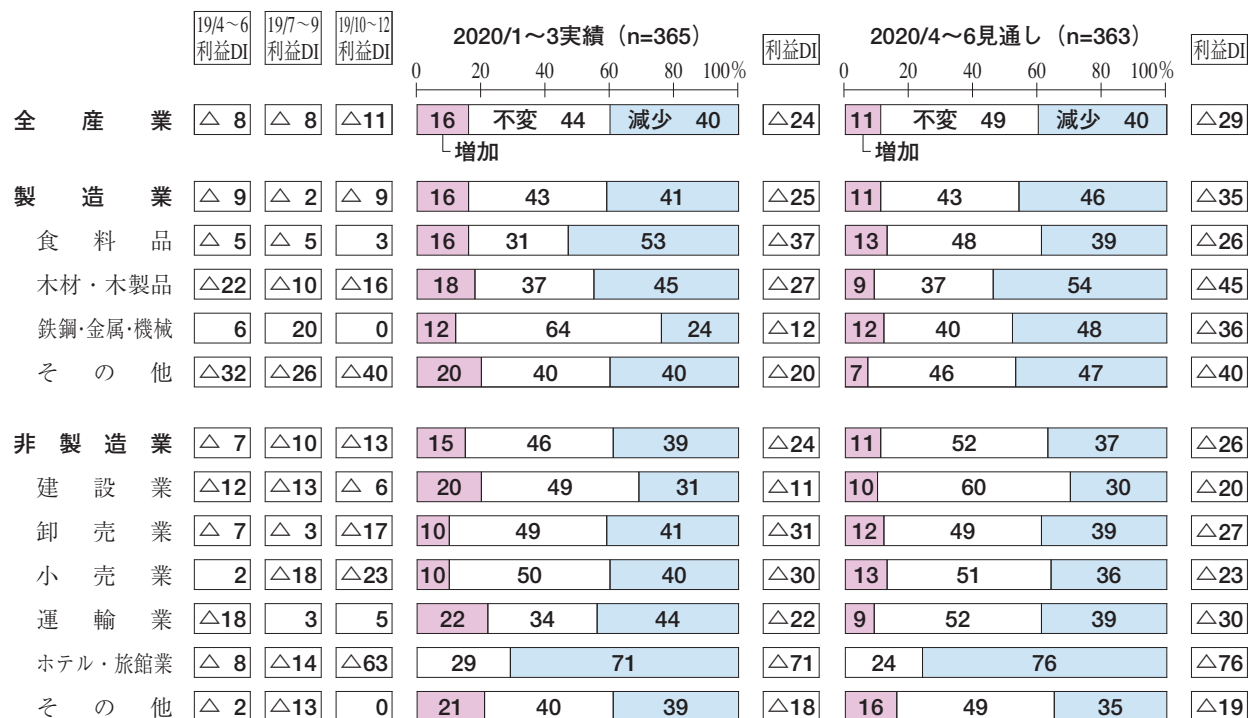
<図表3> 業況の推移 (業種別)



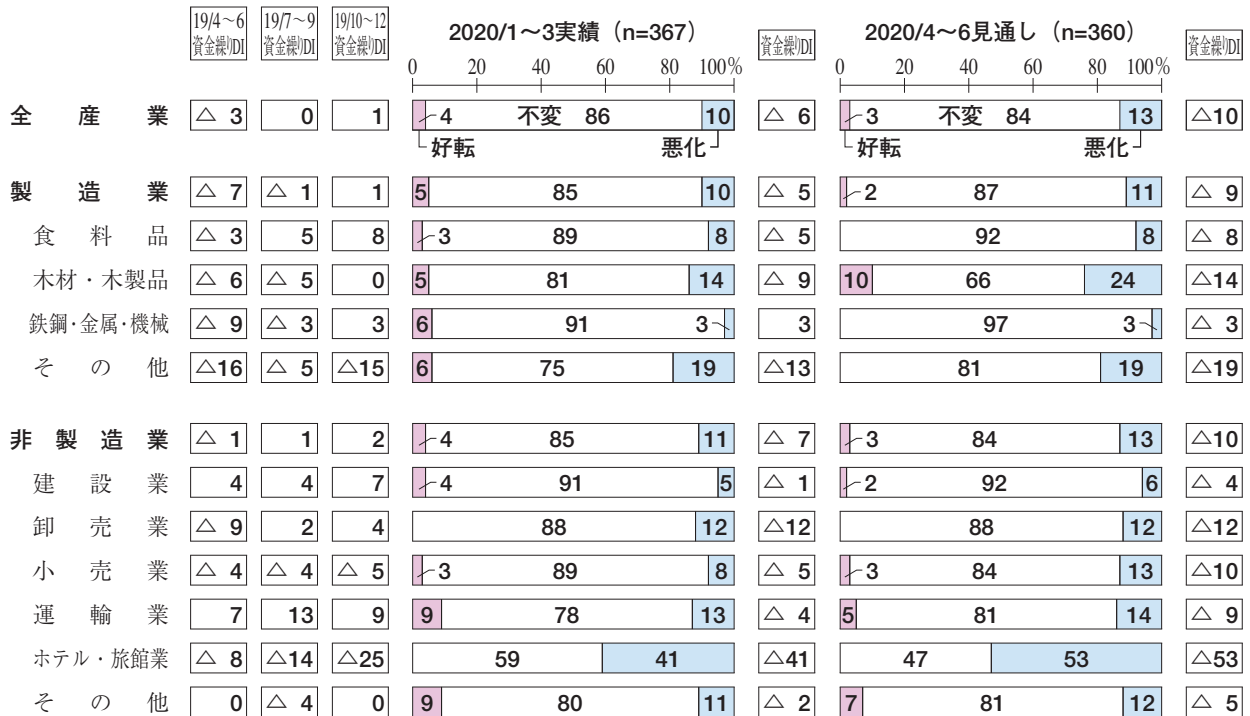
<図表4>売上



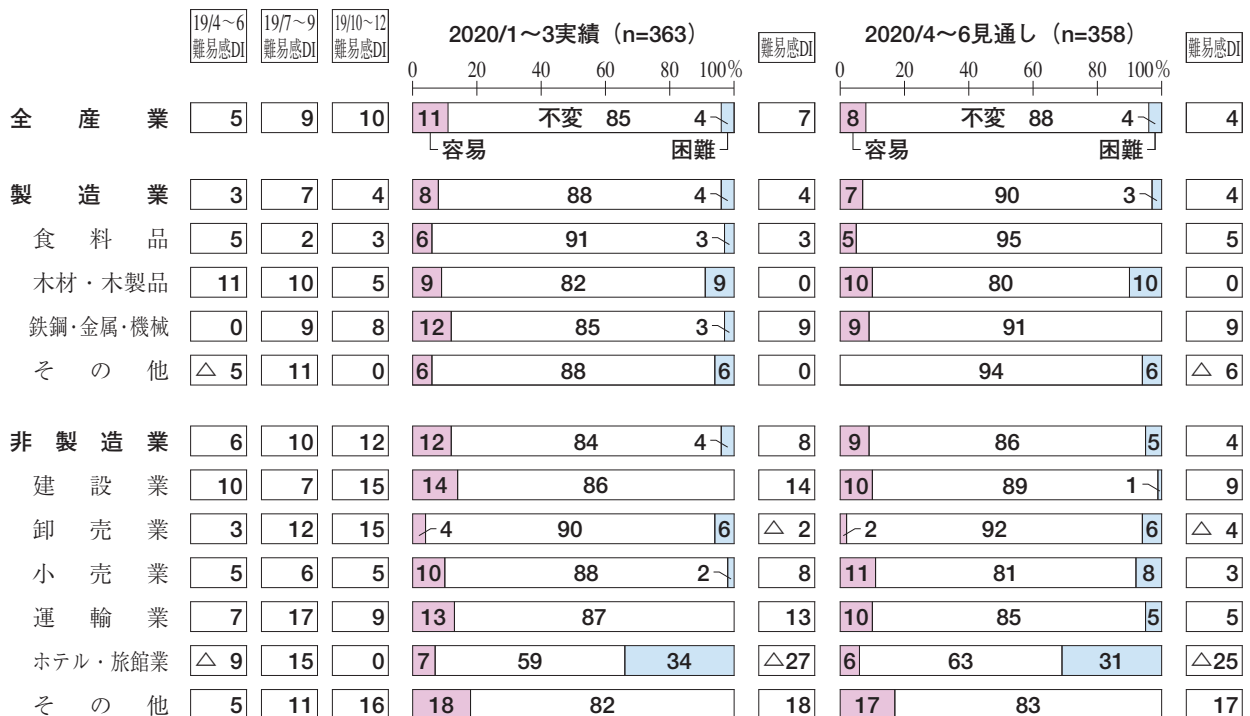
<図表5>利益



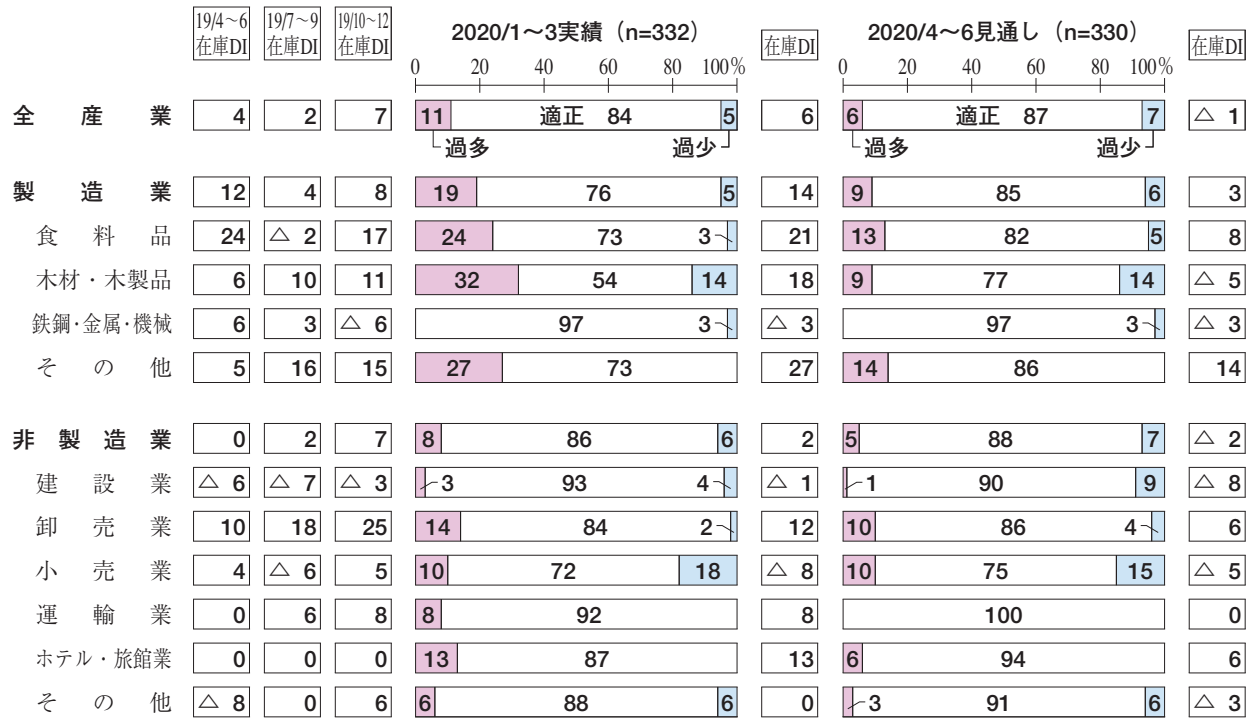
<図表6>資金繰り



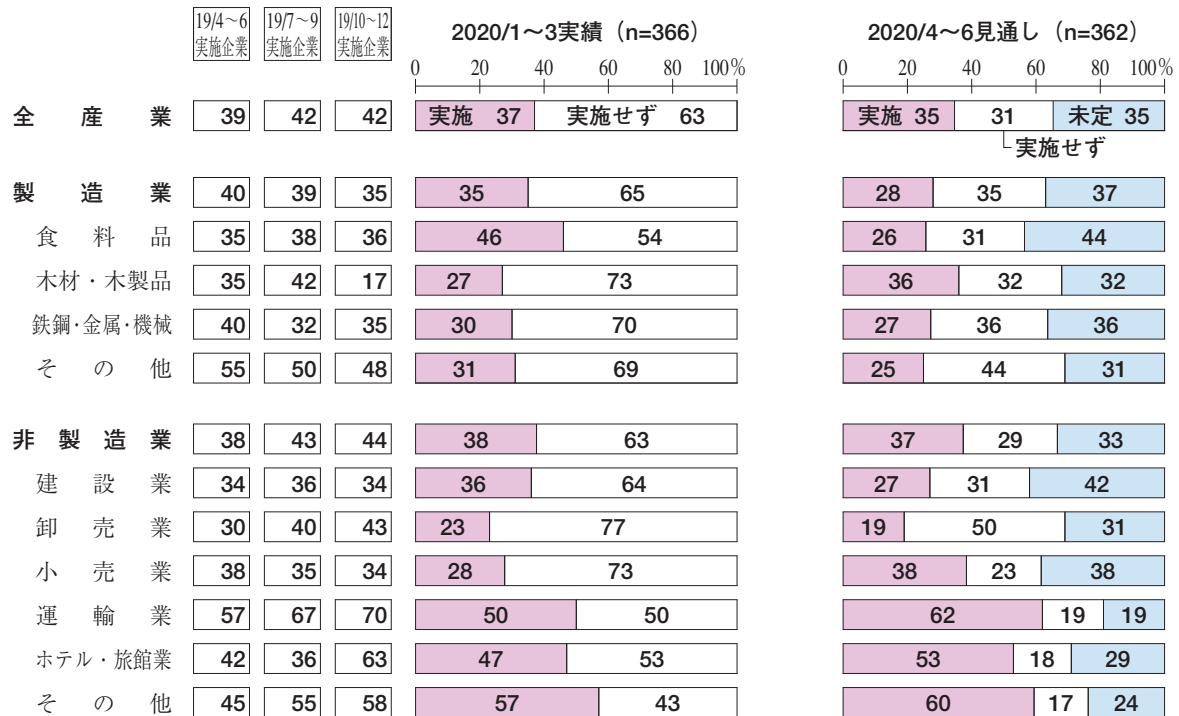
<図表7>短期借入金の難易感



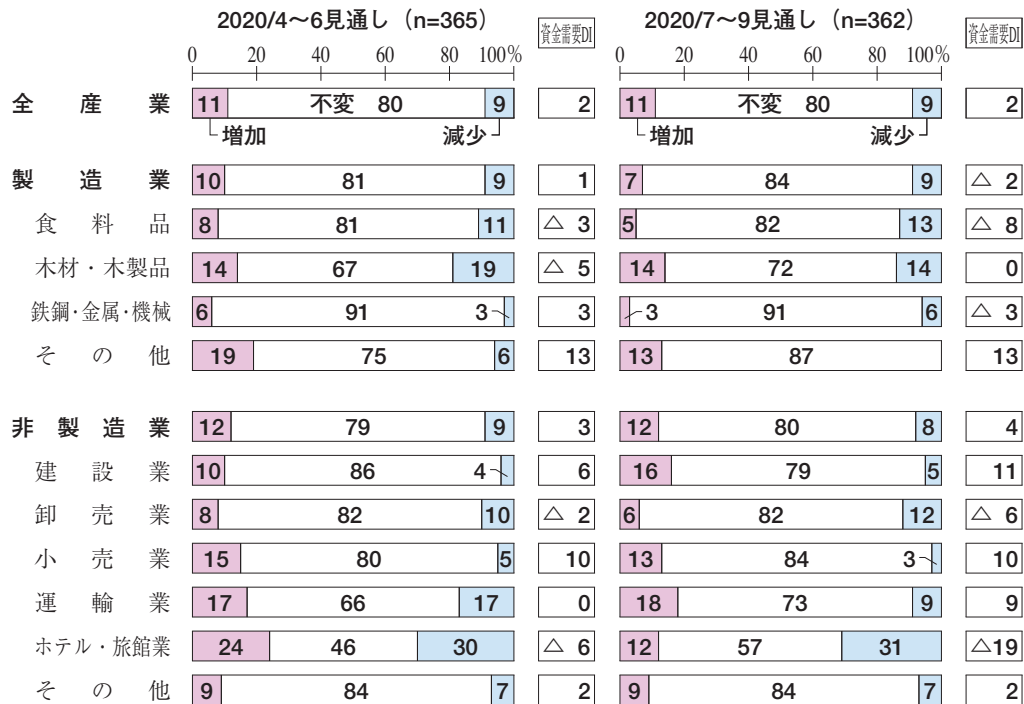
<図表8>在庫



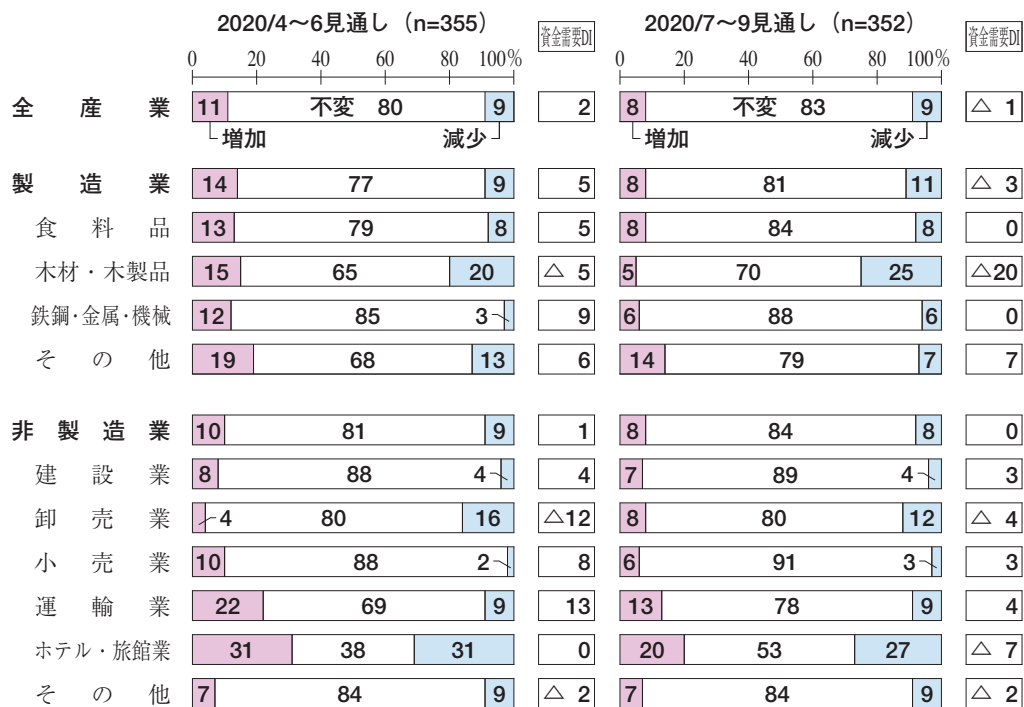
<図表9>設備投資



<図表10> 資金需要見通しの前年比較（運転資金）



<図表11> 資金需要見通しの前年比較（設備資金）

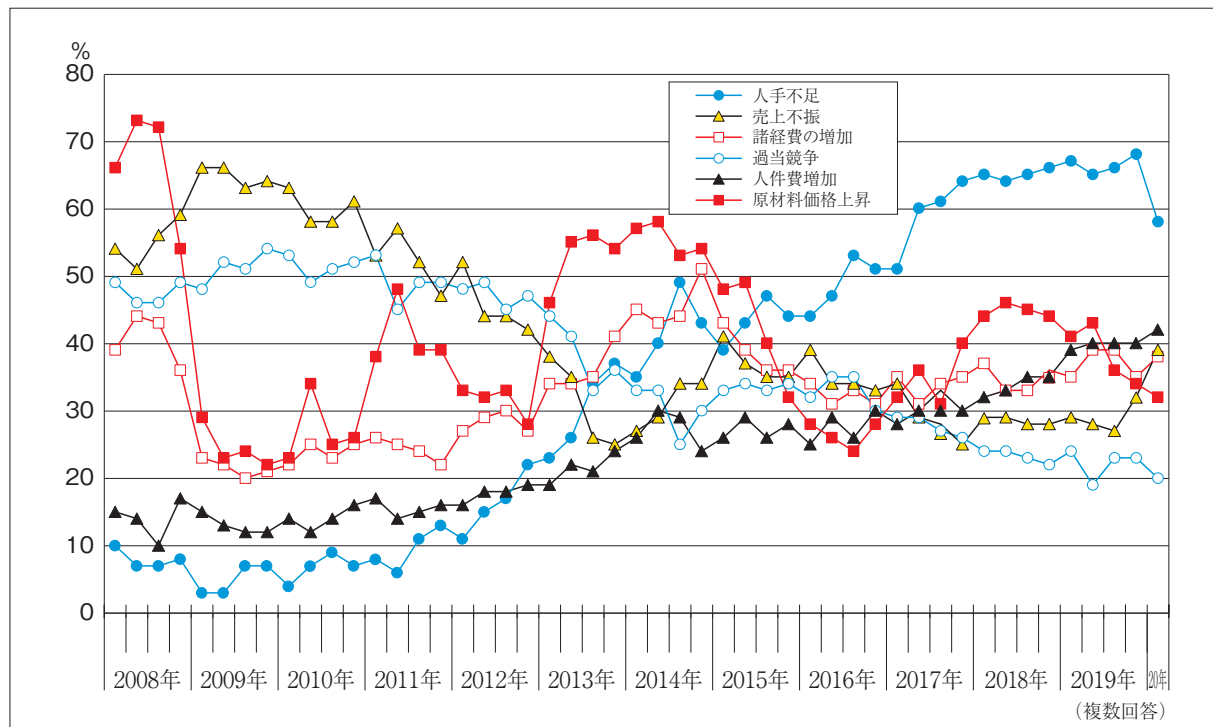


※四捨五入の関係から合計が100とまらない場合がある。

<図表12> 当面する問題点（上位項目）の要点

| 項目               | 前期比 | 要 点   |
|------------------|-----|---|
| (1)人手不足 (58%)    | △10 | ホテル・旅館業 (47%) で47ポイントと大幅に低下。横ばいとなった卸売業以外の業種で低下がみられた。              |
| (2)人件費増加 (42%)   | +2  | 木材・木製品 (48%) で20ポイント、ホテル・旅館業 (59%) で15ポイント、運輸業 (43%) で11ポイント上昇した。 |
| (3)売上不振 (39%)    | +7  | 幅広い業種で上昇。特に食料品製造業 (56%) で20ポイント、ホテル・旅館業 (76%) で20ポイント上昇した。        |
| (4)諸経費の増加 (38%)  | +3  | 製造業 (41%) で10ポイント、非製造業 (38%) で1ポイント上昇した。                          |
| (5)原材料価格上昇 (32%) | △2  | 業種によりばらつきがみられる。   |
| (6)過当競争 (20%)    | △3  | 小売業 (40%) で2位となった。  |

<図表13> 当面する問題点（上位項目）の推移



<図表14> 当面する問題点(複数回答)

(単位：%)

| (項 目)       | 製造業             |                 |                 |                 |                 |                 | 非製造業            |                 |                 |                 |                 |                 |                 |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
|             | 全産業             | 製造業             | 食料品             | 木材・木製品          | 鉄鋼・金属製品・機械      | その他の製造業         | 非製造業            | 建設業             | 卸売業             | 小売業             | 運輸業             | ホテル・旅館業         | その他の非製造業        |
| (1)人手不足     | ①<br>58<br>(68) | ②<br>47<br>(59) | ①<br>44<br>(69) | ①<br>48<br>(61) | ①<br>47<br>(54) | ②<br>56<br>(48) | ①<br>63<br>(72) | ①<br>77<br>(88) | ①<br>47<br>(47) | ①<br>53<br>(59) | ①<br>74<br>(86) | ③<br>47<br>(94) | ①<br>66<br>(67) |
| (2)人件費増加    | ②<br>42<br>(40) | ④<br>44<br>(42) | ①<br>56<br>(64) | ①<br>48<br>(28) | ③<br>38<br>(30) | ②<br>25<br>(38) | ②<br>41<br>(39) | ②<br>46<br>(45) | ③<br>35<br>(26) | ③<br>38<br>(41) | ②<br>43<br>(32) | ②<br>59<br>(44) | ②<br>34<br>(40) |
| (3)売上不振     | ③<br>39<br>(32) | ①<br>49<br>(35) | ①<br>56<br>(36) | ①<br>48<br>(44) | ①<br>34<br>(19) | ①<br>63<br>(52) | ③<br>35<br>(31) | ③<br>30<br>(22) | ①<br>47<br>(42) | ③<br>35<br>(32) | ①<br>17<br>(23) | ①<br>76<br>(56) | ③<br>23<br>(31) |
| (4)諸経費の増加   | ③<br>38<br>(35) | ④<br>41<br>(31) | ③<br>51<br>(36) | ③<br>33<br>(39) | ②<br>41<br>(35) | ②<br>25<br>(10) | ③<br>38<br>(37) | ③<br>38<br>(34) | ①<br>47<br>(40) | ②<br>40<br>(41) | ②<br>43<br>(45) | ②<br>24<br>(31) | ③<br>25<br>(33) |
| (5)原材料価格上昇  | ③<br>32<br>(34) | ③<br>45<br>(49) | ③<br>54<br>(58) | ③<br>43<br>(50) | ③<br>38<br>(46) | ③<br>44<br>(38) | ③<br>27<br>(28) | ③<br>25<br>(22) | ③<br>29<br>(38) | ②<br>30<br>(25) | ③<br>39<br>(41) | ③<br>29<br>(44) | ③<br>16<br>(17) |
| (6)過当競争     | ②<br>20<br>(23) | ④<br>8<br>(13)  | ③<br>10<br>(6)  | ④<br>5<br>(11)  | ④<br>6<br>(14)  | ④<br>13<br>(24) | ②<br>25<br>(28) | ②<br>21<br>(20) | ③<br>31<br>(38) | ②<br>40<br>(39) | ④<br>9<br>(5)   | ④<br>29<br>(50) | ④<br>20<br>(26) |
| (7)販売価格低下   | ④<br>9<br>(8)   | ④<br>9<br>(10)  | ④<br>5<br>(6)   | ④<br>14<br>(11) | ④<br>13<br>(14) | ④<br>6<br>(10)  | ④<br>8<br>(7)   | ④<br>6<br>(3)   | ④<br>16<br>(15) | ④<br>5<br>(2)   | ④<br>4<br>(9)   | ④<br>6<br>(13)  | ④<br>9<br>(7)   |
| (8)設備不足     | ④<br>9<br>(7)   | ④<br>18<br>(14) | ④<br>15<br>(17) | ④<br>24<br>(6)  | ④<br>19<br>(11) | ④<br>13<br>(24) | ④<br>5<br>(4)   | ④<br>0<br>(2)   | ④<br>8<br>(4)   | ④<br>5<br>(2)   | ④<br>4<br>(-)   | ④<br>24<br>(19) | ④<br>5<br>(5)   |
| (9)価格引き下げ要請 | ④<br>5<br>(6)   | ④<br>7<br>(6)   | ④<br>8<br>(3)   | ④<br>5<br>(11)  | ④<br>9<br>(5)   | ④<br>6<br>(10)  | ④<br>4<br>(6)   | ④<br>2<br>(7)   | ④<br>10<br>(6)  | ④<br>5<br>(-)   | ④<br>0<br>(5)   | ④<br>6<br>(6)   | ④<br>2<br>(10)  |
| (10)資金調達    | ④<br>5<br>(5)   | ④<br>6<br>(7)   | ④<br>5<br>(11)  | ④<br>10<br>(6)  | ④<br>3<br>(8)   | ④<br>6<br>(-)   | ④<br>5<br>(5)   | ④<br>1<br>(3)   | ④<br>8<br>(8)   | ④<br>8<br>(7)   | ④<br>4<br>(5)   | ④<br>18<br>(6)  | ④<br>0<br>(-)   |
| (11)代金回収悪化  | ④<br>2<br>(1)   | ④<br>3<br>(-)   | ④<br>8<br>(-)   | ④<br>0<br>(-)   | ④<br>0<br>(-)   | ④<br>0<br>(-)   | ④<br>1<br>(2)   | ④<br>0<br>(-)   | ④<br>4<br>(6)   | ④<br>0<br>(2)   | ④<br>0<br>(-)   | ④<br>0<br>(-)   | ④<br>2<br>(2)   |
| (12)その他     | ④<br>5<br>(4)   | ④<br>6<br>(4)   | ④<br>5<br>(-)   | ④<br>10<br>(-)  | ④<br>6<br>(5)   | ④<br>6<br>(10)  | ④<br>5<br>(5)   | ④<br>4<br>(7)   | ④<br>6<br>(6)   | ④<br>8<br>(2)   | ④<br>4<br>(5)   | ④<br>6<br>(-)   | ④<br>2<br>(2)   |

○内数字は業種内の順位、( )内は前回調査

調査要項

- 調査の目的と対象：アンケート方式による道内企業の経営動向把握。
- 調査方法：調査票を配布し、郵送または電子メールにより回収。
- 調査内容：第76回定例調査（2020年1～3月期実績、2020年4～6月期見通し）
- 回答期間：2020年2月中旬～3月上旬
- 本文中の略称
  - (A) 増加（好転）企業：前年同期に比べ良いとみる企業
  - (B) 不変企業：前年同期に比べ変わらないとみる企業
  - (C) 減少（悪化）企業：前年同期に比べ悪いとみる企業
  - (D) DI：「増加企業の割合」－「減少企業の割合」
  - (E) n（number）＝有効回答数

■ 地域別回答企業社数

| 企業数 | 構成比 | 地 域    |
|-----|-----|--------|
| 全 道 | 368 | 100.0% |
| 札幌市 | 135 | 36.7   |
| 道 央 | 84  | 22.8   |
| 道 南 | 34  | 9.2    |
| 道 北 | 56  | 15.2   |
| 道 東 | 59  | 16.0   |

■ 業種別回答状況

|               | 調査企業数 | 回答企業数 | 回答率   |
|---------------|-------|-------|-------|
| 全 産 業         | 691   | 368   | 53.3% |
| 製 造 業         | 193   | 111   | 57.5  |
| 食 料 品         | 68    | 39    | 57.4  |
| 木 材 ・ 木 製 品   | 31    | 22    | 71.0  |
| 鉄鋼・金属製品・機械    | 59    | 33    | 55.9  |
| その他の製造業       | 35    | 17    | 48.6  |
| 非 製 造 業       | 498   | 257   | 51.6  |
| 建 設 業         | 139   | 81    | 58.3  |
| 卸 売 業         | 100   | 52    | 52.0  |
| 小 売 業         | 91    | 40    | 44.0  |
| 運 輸 業         | 51    | 23    | 45.1  |
| ホ テ ル ・ 旅 館 業 | 35    | 17    | 48.6  |
| その他の非製造業      | 82    | 44    | 53.7  |



# 新型コロナウイルス感染症拡大が幅広い業種に影響。先行きにも不安の声

## 〈企業の生の声〉

今回の調査では、幅広い業種で業況の後退がみられ、道内企業の景況感は厳しい状況となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「観光客の減少により売上が減少している」、「資材や部品、商品の入手が困難」、「今後の見通しが立たない」など、需要の減少や供給制約が生じ、業況に影響が出ているとの声や、先行きを不安視する声が多く聞かれました。

以下で、企業から寄せられた生の声を紹介します。

### 1. 食料品製造業

**<食肉加工業>** 最大の懸案は人手不足。派遣社員に頼らざるをえず、人件費上昇につながっている。

**<製菓業>** 新型コロナウイルスの影響で、観光客が減少。そのため売上也減少している。対策として、新製品を開発中である。

**<水産加工業>** 増税後の消費冷え込みに加え、新型コロナウイルス騒動で経営環境は一段と厳しくなっている。

**<水産加工業>** 韓国との外交問題に起因する輸出・インバウンドの減少に加え、新型コロナウイルスによるインバウンドの減少、中国の生産ストップによる国内の景気減退の影響が大きく、売上の減少・利益率の悪化が生じている。

**<水産加工業>** 原価の高止まりに加え、新型コロナウイルスの影響で、売上が利益率が下がっている。利益率に関しては、歩留まりの見直し等をしているが、売上は打つ手がない状態。

**<飲料品製造業>** 昨年より製品の単価を値上げした（材料および運賃の値上げによる）。今年はさらに、船便のNOx規制で運賃が値上げされており、本州への出荷が厳しくなっている。

### 2. 木材・木製品製造業

**<製材業>** 丸太、製品共に荷動きが鈍い。木質燃料系パルプだけでは不安もあるが、当面は模様ながめの状況。

**<製材業>** 中国の新型コロナウイルスの影響が心配である。

### 3. 鉄鋼・金属製品・機械製造業

**<鉄鋼業>** 新型コロナウイルスの影響による、景気悪化・取引単価の下落が懸念される。

**<金属製品製造業>** 今期は予定通りの見通し。一方、既存の顧客から、来期は設備投資がなくコスト管理が厳しくなるとの話があり、売上・利益共に低迷の予想。対策として、他業種への参入（医療・福祉・航空機・ロボット産業）や、販路拡大を図りたい。

**<金属製品製造業>** 消費増税後の影響はなく、前期とほぼ同程度の収益で順調推移中。しかし、まだ新型コロナウイルスの直接的な影響はないものの、長期化した場合は間接的影響が心配。例えば小売業界の売上が減少し、設備投資意欲の低下を招いた場合は、当社製品（陳列棚、ショーケース等）の売上減少にもつながるので不安感がある。

**<金属製品製造業>** 副資材関連製品・部品等、中国で生産されているものが入手困難になりつつある。

### 4. その他の製造業

**<ゴム製品製造業>** 少雪は当社にとって逆風となった。消費増税による消費低迷も深刻である。

**<印刷業>** 前期まで実施していた業務が、取引先の施策により今期は実施しない方針となったため売上減少。担当スタッフの強化や当社からの企画立案を強化し、今後の業績拡大を目指す。また、推進策として掲げていた最新の設備投資を実施したことで、固定費削減・生産性向上に成功し、販管費の大幅削減となった。

## 5. 建設業

**<建設業>** 管内（道南）のホテル新築・改築需要も落ち着き、大口案件が官民共に低調である。利益率を確保しつつ、案件を受注に結び付ける必要がある。

**<建設業>** 道内における案件が地域によって偏っているように感じる。道央以外は少なく、上川地区は特に少ない。営業エリア、下請け工事などいろいろと強化していかなければ、企業維持が難しい。

**<建設業>** 管内（道東）での大型物件がない。札幌地区への販路拡大がカギ。土木工事について取りこぼしのないよう応札したい。

**<建設業>** 受注は計画通り順調に推移しており、やや低迷気味の売上は回復する見込み。ただし、新型コロナウイルスによる影響が計り知れない状況なので、適切な対応を検討したい。

**<建築工事業>** 新型コロナウイルスの影響による景気の悪化や、工事の延期が懸念される。

**<電気工事業>** 3月までは官公庁関連の工事竣工時期を迎え、売上・利益ともに好況の見通し。人手不足の中、下請け業者の確保・活用等で乗り切ることができている。大型工事竣工後の4月以降については、受注状況に未確定な部分がある。官公庁偏重型から民間受注についても動静を見極めるほか、人材の流動的な配置を無駄なく行っていく必要がある。

**<住宅建築業>** 新型コロナウイルスの影響で資材の発注が滞ってきている。工程の遅れが出てくる可能性があり、決算にどう影響が出るか不安な状況。

**<住宅建築業>** 雪不足で、雪おろし・排雪作業の売上が全くなかった。新型コロナウイルスの影響で、水回り製品の入荷の予定が全く立たない。今年度の仕事への影響が心配である。

## 6. 卸売業

**<観光物産品卸売業>** 新型コロナウイルスの影響により外国人観光客が減少している。そのため、観光業のダメージは大きい。

**<食材卸売業>** 新型コロナウイルスによるインバウンド激減の影響が少しずつ顕在化してきた。ホテル等直接的な取引はないが、外食等には大きく影響しているように思える。当地函館は特にインバウンドが多く、また、クルーズ船の寄港等も多いので、今年は厳しい年になると感じる。

**<鋼材卸売業>** 帯広地域の大型案件も一段落し、2020年度は案件が少ないと思われる。中国の新型コロナウイルスの影響から、スクラップ等原材料の輸出も激減しており、材料価格への影響が懸念される。

**<鋼材卸売業>** 電力関係の工事が繰り延べになっており、今後2～3年間は相当厳しくなると思われる。

**<機械器具卸売業>** 昨年の消費税増税以降、機械売り上げが伸び悩んでいる上に、新型コロナウイルス等で景気悪化が懸念され設備投資意欲の減退が見られる。

**<機械器具卸売業>** 新型コロナウイルスのせいで今現在、入荷未定の商品も出ている。長引けば売上にもかなり影響が出ると予想される。

**<包装用品卸売業>** 新型コロナウイルスの影響により、中国からの輸入品については、春以降の商品確保の見通しが全く立っていない状況。今後の推移を見守るしかないところである。

**<肥料卸売業>** 少雪の影響で、除雪車用軽油や農業用融雪剤の売上が大幅減となる見通し。

**<靴卸売業>** 消費税増税以降、暖冬と新型コロナウイルスによって販売が不振。中国の生産の遅れも懸念される。このため、今後物流の生産性向上のための投資や、新規開拓・新商品の開発に取り組む。

## 7. 小売業

**<燃料小売業>** 暖冬に加え、最近の新型コロナウイルス拡大の影響などで、世界中の物流に停滞感が広がってきている。そのため、石油などの在庫がダブついてきており、価格低下につながっていると思われる。

**<燃料小売業>** 新型コロナウイルスによる個人消費の落ち込みや企業活動の停滞から、全般的な売上の落ち込みが懸念される。

**<作業用品店>** 増税・暖冬の影響で売上が減少している。財布のひもが固くなり、平常時は買い物を控え、セール時に買う傾向が強まっている。さらに、新型コロナウイルスにより、中国からの商品調達が停滞し、売上への影響などの問題が出てきている。今後、費用対効果の高い広告を増やし、その他の経費は圧縮していく。また、中国以外からの仕入れを増やしていく予定である。

## 8. 運輸業

**<タクシー業>** ①人員不足による売上減少、②有給取得の義務化による人件費の増加、③新型コロナウイルスによる利用客の低下などにより、売上ばかりではなく利益面も大幅に減少傾向にある。インバウンドで集客力をあげるはずが、今回の新型コロナウイルスにより見通しが立たない状態。現在は立て直しの検討中にある。

**<運輸業>** 台風災害等に伴う復旧工事の完了により、売上・利益が減少。今後は第一次産業等の基幹産業に関する仕事確保が重要である。

## 9. 宿泊業

**<観光ホテル>** 新型コロナウイルス問題の出現により収益見通しが立てられない。固定費の削減に注力する。

**<観光ホテル>** 新型コロナウイルスの発生により、国内外とも大量のキャンセルが発生している。新規予約も低調であり、売上・収益とも見通しは厳しい。休館日の検討や、非正規雇用についての絞り込みを考える。

**<都市ホテル>** 新型コロナウイルスの影響がいつなくなるか判断できない状況。働き方改革に合わせて採用に力を入れてきたが、売上に対して人員過剰の現状であり、コスト削減方法を全社で検討中。

## 10. その他非製造業

**<自動車整備業>** 増税後、車両販売・修理ともに減少。今年は雪も少なく、事故車の修理も減少している。

**<自動車賃貸業>** 積雪の減少と新型コロナウイルスによる影響により、売上・収益とも激減。

**<警備業>** 新型コロナウイルス発生により大型イベントが中止しており、売上減少が不安である。

# 社員定着化のための対応ポイント

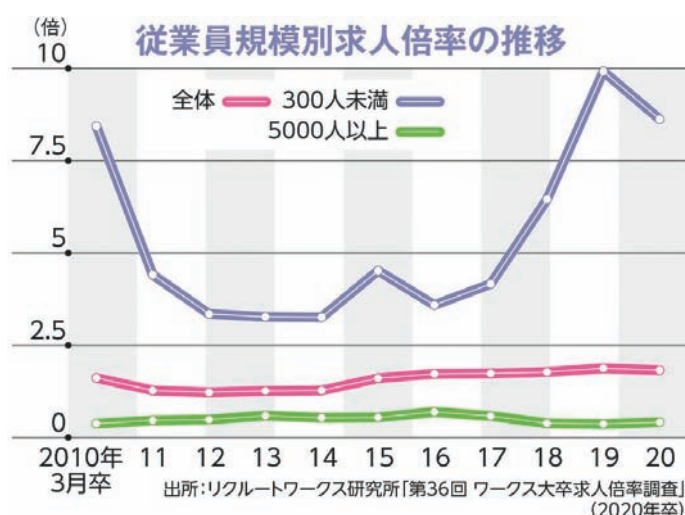
株式会社 むらづみ経営  
 社会保険労務士法人 むらづみ総合事務所  
 人事コンサルタント 對馬直樹

## 1. はじめに

企業の人手不足感が年々強くなっている中、有効求人倍率は1.83倍と依然として高く、企業にとっては人材の確保が難しい状況が続いています。2019年度は企業の人手不足倒産件数が過去最高を更新。2022年度以降は、新規学卒者の人口も減少傾向になるため、人材の確保はより厳しいものになることが見込まれます。

有効求人倍率を従業員規模別で見ると、従業員規模が5,000人以上では、有効求人倍率が0.42倍であるのに対して、従業員規模300人未満では8.62倍と差が非常に大きくなっています。このことから、求職者の応募は大企業へ集中し、中小企業で働きたいと考える方が少ないことが窺えます。

大企業と中小企業の有効求人倍率の差は、求職者側が望む企業のコンプライアンスや労働条件、福利厚生などの差も原因と考えられます。このため、中小企業はより法令遵守や働きやすい環境の提供などに意識を持って取り組む必要があります。今後は人口の急減・超高齢化問題も視野に入れ、従業員の多様な働き方の実現や教育にも力を入れて定着率を上げていくことが、持続経営に繋がる重要なポイントになってきます。



また、厚生労働省の2020年1月の統計では、2020年3月卒の新卒者就職内定率は大卒が87.1%、高卒が98.7%と高水準になっていますが、大企業と中小企業の有効求人倍率の差が示す通り、中小企業の人手不足は深刻と言えます。中小企業の人手不足が深刻化する要因には、応募を検討した時に「企業概要が把握出来ない」「入社後どんな仕事に就くのかイメージが持てない」など、企業が提供している情報が少なく、応募の決心を鈍らせてしまうことも原因の一つである



と考えます。現在の情報化社会において、情報が得られないというのは就職希望者のストレスとなり、応募を止めてしまうことに繋がりますので、興味を持ってもらえる企業になれるよう今一度自社の強みを確認してアピールする方法を検討することが重要です。

以上を前提として、本稿では、まず「離職の現状」「定着率を上げるため取り組みの現状と課題」、次に「社員の定着率の低い会社の特徴」「社員の定着率を上げるための企業の取り組みのポイント」について説明します。その後、社員にとって入口であり、定着化に大きな影響を与える「採用前後の対応ポイント」を解説します。

## 2. 離職の現状

従業員の離職は、企業にとって大きな損失となります。また離職率が高い状態を放置しておくと、既存従業員の業務量が増加したり、企業への不信感に繋がったりしますので、早期に対策を講じる必要があります。

対策検討の着眼点として、まず「離職の現状」を概観します。離職時期については、入社後半年以内が離職に繋がりがやすいと感じている企業が多く、特に中途採用者の定着率の低さが目立つ状況となっています<sup>1</sup>。また新卒採用者の離職理由については、労働時間・休日などの労働条件に関わる理由が多数意見となっているのに対し、中途採用者は、給与や人事制度などの待遇面に関わる理由が多数意見で、新卒採用者と中途採用者で離職理由が異なる点にも注意が必要です。

### 【新卒採用者の具体的な離職理由】

～男 性～

|                            |
|----------------------------|
| 第1位：労働時間・休日・休暇の条件がよくなかったため |
| 第2位：自分がやりたい仕事とは異なる内容だったため  |
| 第3位：肉体的・精神的に健康を損ねたため       |
| 第4位：人間関係がよくなかったため          |

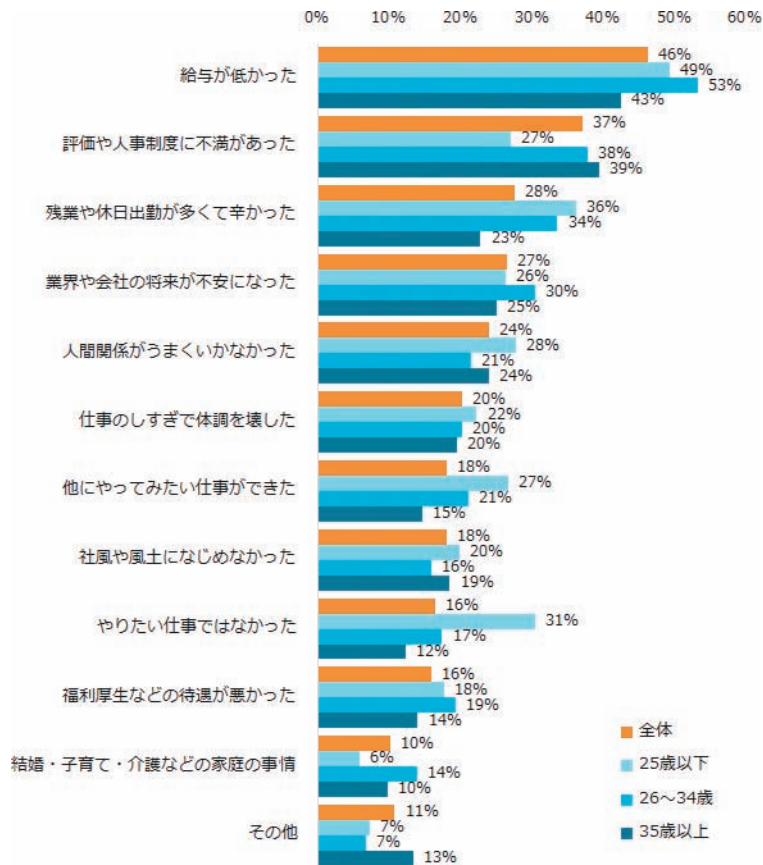
～女 性～

|                            |
|----------------------------|
| 第1位：肉体的・精神的に健康を損ねたため       |
| 第2位：労働時間・休日・休暇の条件がよくなかったため |
| 第3位：人間関係がよくなかったため          |

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 資料：調査シリーズNo164「若年者の離職状況」

<sup>1</sup> エン・ジャパン(株)「中途入社 の 定着」実態調査

【中途採用者の離職理由】



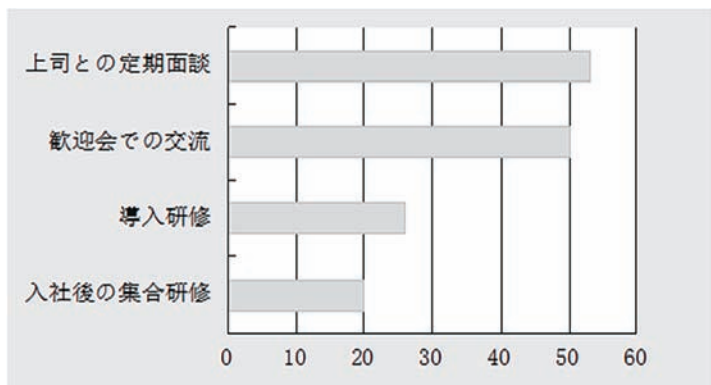
エン・ジャパン(株) 資料：「退職のきっかけになった理由」 2020/2/21

3. 定着率を上げるための取り組みの現状と課題

採用活動は時間のかかる作業であることもあり、また「育てた人材を手放したくない」「採用困難だから」といった理由もあり、多くの企業は定着率向上に積極的に取り組んでいます。

企業は定着率を上げるため、各種研修のほか、「上司との面談」や「歓迎会での交流」など様々な取り組みを行ない、定着率を上げる努力を行っていますが、残念ながら離職率は例年同水準を維持しているのが現状です。定着率を上げていくためには、固定概念を捨てて労働者の目線に立った対応が必要なようです。

【定着率を上げるための取り組み】



2019. 3 「中途入社者の定着」実態調査－「人事のミカタ」アンケート資料 エン・ジャパン

#### 4. 定着率の低い会社の特徴

離職率が高い場合、原因が企業側にあるというケースが多いように思います。定着率の低い企業には、①業務負担が大きい、②正当な評価が得られない、③風通しが悪い、などの特徴が見られます。企業側は、採用→退職→採用の負のスパイラルを繰り返さないよう、上記の特徴に該当しないか現状を振り返るとともに、もし該当するようであれば、危機意識を持って改善に取り組むことが重要です。

定着率の低い状態が続くと、企業側は採用費用や教育費用が増えるだけでなく、採用面にも悪影響が現れかねません。採用がうまくできず、求人の掲載頻度が高くなると、求職者側からも「何かしら問題のある企業」「定着しない職場環境の企業」などと言った問題企業のレッテルを貼られてしまうことも想定されます。さらに企業に不満があって離職した従業員が増えてくると、外部に対して情報が流出する可能性も出てきます。一度ブラック企業のイメージが定着してしまうと、イメージを回復させることが難しいことや、ブラック企業で働きたいと考える求職者はいないということを十分認識するとともに、既存従業員からも想定外の退職の申し出などが出ないようケアも行いながら採用活動を行う必要があります。

##### 【定着率の低い企業の特徴】

|             |                      |
|-------------|----------------------|
| ① 業務負担が大きい  | → 少人数制の中小企業に多い       |
| ② 正しく評価されない | → 昇進・昇格など将来設計ができていない |
| ③ 風通しが悪い    | → 相談できる環境（相手）が無い     |

#### 5. 定着率を上げるための施策

職場環境が悪い状況下で定着率を上げるのは、非常に困難なことです。また職場環境を変えることは、企業にとっては従来の慣行を変えたり、従業員の不平不満を吸い上げたりと、時間やコストもかかるとても大変な作業です。職場環境は従業員だけに対応を任せても、変わりません。企業のトップ発信で、全従業員を巻き込んで取り組むことが、定着率が上がる職場環境を作ることに繋がりますので、以下の「定着率を上げるための施策」「定着率を上げる際の問題点」を参考に、企業のトップが定着率を上げるためには職場環境を変えなければならないという強い信念を持って取り組むことが重要です。

##### 【定着率を上げるための施策】

|                |                           |
|----------------|---------------------------|
| ① 労働環境の見直し     | → 業務負担の見直し、労働時間・休日などの徹底管理 |
| ② 従業員の不満を吸い上げる | → 定期ミーティングやストレスチェック       |
| ③ アウトソーシングの活用  | → 人手が足りない業務のアウトソーシング      |

**【定着率を上げる際の問題点】**

|   |
|---|
| ① 離職理由は人それぞれのため、画一的な対応策を見出すのが困難           |
| ② 採用して3年、5年と落ち着いたかと思う時期に離職者が出ることが、習慣化している |
| ③ 在籍期間をどうすれば長くなるのか苦慮している・思いつかない           |
| ④ 支店での離職者が多く、本社の目が届かない                    |
| ⑤ 同業他社からの引き抜きによる離職が目立つ                    |

2019.3 「中途入社者の定着」実態調査－「人事のミカタ」アンケート資料 エン・ジャパン

**6. 社員定着化のためにも、採用のミスマッチを防ごう！**

**◆まずは事前準備**

採用後の定着率を上げるためには、基本である「ミスマッチ採用」の防止に努める必要があります。コストをかけて採用しても、企業側と求職者側でミスマッチがあった場合、採用コストがかかるだけでなく、既存従業員の業務負担も増えるとともに、負担増に伴い不満が募り、既存社員を含む新たな離職を生むことに繋がりがねません。このような事態を避けるためにも、採用活動では事前準備が重要になります。

**◆人物像の共有**

採用活動を始める際、まずは採用活動に関わる方全員で採用したい人物像についての認識を共有することが大切です。人の印象の受け方は、人それぞれ異なるため、採用したい人物像の認識を共有し、応募者が採用したい人物像に該当していたかの判断ができるようにしましょう。また、事前に採用面接の際に確認すべきことや聞いておきたいことをまとめておき、漏れない対応ができるよう準備をしましょう。

**◆採用面接は複数人がベスト**

次に採用面接は、できるだけ複数人で行うのがベストです。人は第一印象や見た目でよし悪しを決めてしまう人的エラーを起こします。そのため複数人で採用面接を行い、後に人物像など確認し合える状況を作っておきましょう。

**◆採用面接時・面接後の注意点**

また採用面接が終わった後に、企業側と求職者側で不明点がない状態にすることも重要です。そのため採用面接を行う際は、企業側も「雇ってやる」などの気持ちは持たずに、求職者と同じ目線で採用面接を進め、お互いに有意義な時間を共有することも重要なポイントとなります。話しやすい環境を提供することにより、求職者の本音を聴きだせると、「ミスマッチ採用」をより防ぐことに繋がるでしょう。

なお、採用面接の質問事項には、以下のとおり就職差別にあたるおそれのある質問事項もありますので、注意しましょう。



【就職差別にあたるおそれのある質問事項】

| 禁 止 事 項                       | 具 体 例   |
|-------------------------------|---|
| 1. 本籍に関する質問                   | ・あなたの本籍地はどこですか？<br>・両親の出身地はどこですか？   |
| 2. 住居とその環境に関する質問              | ・〇〇町の△△はどの辺ですか？<br>・あなたの家の付近の日印となるのは何ですか？   |
| 3. 家族構成や家族の職業・地位・収入に関する質問     | ・あなたのお父さんは、どこの会社に勤めていますか？<br>・あなたの両親は、共働きですか？   |
| 4. 資産に関する質問                   | ・あなたの住んでいる家は一戸建てですか？<br>・あなたの住んでいる家や土地は持ち家ですか？  |
| 5. 思想・信条・宗教・尊敬する人物・支持政党に関する質問 | ・あなたの信条としている言葉はなんですか？<br>・尊敬する人物を教えてください。<br>・あなたはどんな本を愛読していますか？<br>・あなたの家では、何新聞を読んでいますか？ |
| 6. 男女雇用機会均等法に抵触する質問           | ・結婚、出産しても働き続けられますか？<br>・今、付き合っている人はいますか？<br>・結婚の予定はありますか？                                 |

資料：厚生労働省大阪労働局「就職差別につながるおそれのある不適切な質問の例」

◆採用後の対応

採用後は企業全体に採用したことを周知し、温かく迎えます。また仕事の進め方や人間関係など、困ったことがないか定期的に声掛けを行ってあげることも大切です。就業規則や労働条件の明示、社内ルールの伝達は、安心して働くための重要なポイントになりますので、時間を作りしっかり対応しましょう。

7. おわりに

「働き方改革」により、労働時間の上限規制や有給休暇年5日の取得義務など、企業にとっては厳しい対応が迫られている状況ですが、法令遵守は避けて通れないものです。今後は、急激な人口減少や少子化の影響も加わり、労務管理はさらに難しいものになっていくことが見込まれます。有効な採用活動と社員の定着率向上を図り、永続経営を実現するためには、今一度企業の問題点を棚卸し、改善できるところから、少しずつでも改善していくことが大切です。考えるだけで何もしなければ何も変わりません。業界や業種を理由に改善は無理だという発想を変え、一歩先に進んでいただければと思います。

現在新型コロナウイルスが世界的な流行となり、企業を取り巻く雇用環境に変化がみられます。内定取り消しを含む雇用調整の動きがある一方で、これまで新卒採用に苦戦してきた業種・業態の一部に、これを機会として採用活動の強化に取り組む動きも見られます。本稿が企業の採用活動並びに定着率向上の一助となり、求職者に選ばれる企業になるためのお役に立てれば幸いです。



## 新型コロナウイルスの猛威と難局への対応

世界中が新型コロナウイルスの脅威に晒されている。本年の正月には、北海道神宮の初詣風景は例年どおりの賑わいであったし、今年の北海道経済についても、「ウポポイや五輪」「観光誘客追い風」(1月7日付日本経済新聞)との報道のように総じて楽観ムードが支配していた。その後、中国の武漢の状況が深刻化する中で、我が国においては、世間の目はクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の動向に釘付けになってはいたが、国内での発症事例で先行していた北海道でも、3月1日の鈴木知事の「緊急事態宣言」に関する臨時記者会見に対して、「決断力はトップの大事な資質だが、道民にむやみに不便を強いることのないよう細心の注意を払う責務がある」、発症事例が「<全国一>をアピールすれば、<北海道は危険>との不要な風評を広げかねない」(北海道新聞、3月2日付社説)など、やや腰の引けた論評が多かった。

3月の経過と共に、事態は大きく動いた。ウイルスの猛威が、EU諸国や米国に拡大するにつれて、3月24日には東京五輪の1年延期が発表され、また、多くのスポーツの大会・イベントなどが中止や延期に追い込まれた。北海道においても、5月のライラックまつり、6月のYOSAKOIソーラン祭り、7月のPMFなど札幌の季節の催しが次々と中止となった。こうした状況の中で、政府は4月7日に至り、懸案の「緊急事態宣言」を東京都はじめ7都府県に発令、同時に108兆円(GDPの2割)にのぼる規模の経済対策を実施する旨決定した。このような事態の展開について、若干気になったことをやや後付の議論になるが簡単に述べてみたい。

第1は、新型コロナウイルスがもたらす世界的なグローバル経済へのダメージである。そのマイナスの影響は、リーマンショックの時をはるかに上回ると言われ、様々な試算が行われている。考えてみるとそれはいわば当然のことだ。経済活動を支える資源として、ヒト、モノ、カネの3要素が重要であると言われるが、リーマンの場合は、単純化して言うと主としてカネ、即ち金融システムの動揺によるものであった。従って、金融の再建が達成されれば、経済活動の回復の目途も立て易かったといえる。しかし、新型コロナウイルスは、先ずヒトを直撃する。ヒトが動かなくなると、生産・物流の動き即ちモノの動きにも支障が生ずる。さらに、ヒト、モノが動かなければカネの動きにも大いにマイナスの影響が出る。グローバル化経済は、ヒト、モノ、カネの全てが円滑にかつ自由に動けることを前提としてい

る。こうしたグローバル経済システムが今や機能停止に追い込まれようとしているのだ。この危機以前にも、イギリスのEU離脱、米国の「アメリカ・ファースト政策」など、経済のグローバル化の流れに逆流する動きがみられた。すでに、中国の「世界経済の生産拠点化傾向」を見直す（工場の再配置等）動きも出て来たとの報道もある。こうした事態を直視すると、新型コロナウイルスがもたらすダメージは、リーマンショックを上回るものであることは容易に想定できる事である。新型コロナウイルスのもたらすダメージは、グローバル化した経済の今後にどのような変化をもたらすのか、大いに気になるところである。場合によって今回は、世界経済の立ち直りに関して、従来の経済危機の時以上に時間を要することになるかもしれない。

第2は、新型コロナウイルスのダメージが、社会的経済的な弱者に強く降りかかって来ていることである。直接的には、高齢者の致死率が若年層より高いことが挙げられる。死者の多い国にあっては、医療崩壊に近い状況のもとで、より長生きすべき若年層に対して優先して治療が行われるといったことが発生しかねないとの報道も見られた。検査体制の不備、人口呼吸器等の医療器具の不足、感染症に対する隔離病床の不足など、医療先進国と言われる国々においても医療インフラに関し思いがけない落とし穴があることが明らかになった。さらに、都市封鎖、外出抑制・禁止などヒトの動きを制約する危機対応によって、中小・零細企業の多い飲食等のサービス産業における企業・雇用者の受ける直接的被害も大きい。倒産・解雇などの事態を回避するための措置に要する費用は恐らく現在の想定を大きく超えるものとなるのではないか。

第3は、危機対応において常に問題となる、①事態の掌握・予測における「油断」との実際の危機対応に関する「スピード」の問題である。先ず「油断」については、初期における米国、とくにトランプ大統領の発言（危機感の乏しさ）とその後の急速な感染者の増加と医療現場の混乱のギャップが挙げられる。この過程で、健康保険に関し国民皆保険が実現していない米国の弱点も明らかになった。我が国においては、東京都の初期対応も油断の例に挙げられるかもしれない。小池都知事は、東京都における発症事例が急速に増加して初めて、積極的対応の推進者となってマスコミの前に登場した。次に、スピードの点に関しては、政府の「緊急事態宣言」(4月7日公表)のタイミングが将来問題となる可能性を秘めている。多くの医療専門家の発言に押されてようやく決断した感を免れない。政府としては、「ウイルス感染の抑制」と「経済的ダメージの軽減」という二つの対立する課題の間で苦慮した結果であろう。このことは、正に政治的判断の難しさを象徴する出来事であった。

(令和2年4月10日 北洋銀行顧問 横内 龍三)

# 主要経済指標 (1)

| 年月          | 鉱工業指数            |            |                  |            |                  |            |                  |            |                  |            |                  |            |
|-------------|------------------|------------|------------------|------------|------------------|------------|------------------|------------|------------------|------------|------------------|------------|
|             | 生産指数             |            |                  |            | 出荷指数             |            |                  |            | 在庫指数             |            |                  |            |
|             | 北海道              |            | 全国               |            | 北海道              |            | 全国               |            | 北海道              |            | 全国               |            |
|             | 2015年=100<br>季調値 | 前期比<br>(%) | 2015年=100<br>季調値 | 前期比<br>(%) | 2015年=100<br>季調値 | 前期比<br>(%) | 2015年=100<br>季調値 | 前期比<br>(%) | 2015年=100<br>季調値 | 前期比<br>(%) | 2015年=100<br>季調値 | 前期比<br>(%) |
| 2015年度      | 99.7             | △ 2.4      | 99.8             | △ 0.8      | 99.7             | △ 0.9      | 99.6             | △ 1.0      | 92.6             | △ 4.7      | 95.2             | 0.2        |
| 2016年度      | 99.8             | 0.1        | 100.6            | 0.8        | 99.4             | △ 0.3      | 100.2            | 0.6        | 92.3             | △ 0.3      | 93.9             | △ 1.4      |
| 2017年度      | 100.3            | 0.5        | 103.5            | 2.9        | 101.4            | 2.0        | 102.4            | 2.2        | 98.0             | 6.2        | 98.7             | 5.1        |
| 2018年度      | 98.0             | △ 2.3      | 103.8            | 0.3        | 97.9             | △ 3.5      | 102.6            | 0.2        | 101.2            | 3.3        | 98.9             | 0.2        |
| 2018年10~12月 | 99.0             | 3.3        | 105.0            | 1.4        | 98.8             | 2.1        | 103.4            | 1.0        | 105.2            | 3.0        | 102.9            | 0.9        |
| 2019年1~3月   | 97.5             | △ 1.5      | 102.8            | △ 2.1      | 96.4             | △ 2.4      | 101.6            | △ 1.7      | 106.1            | 0.9        | 103.4            | 0.5        |
| 4~6月        | 95.8             | △ 1.7      | 102.8            | 0.0        | 95.4             | △ 1.0      | 101.4            | △ 0.2      | 105.7            | △ 0.4      | 104.4            | 1.0        |
| 7~9月        | 93.1             | △ 2.8      | 101.7            | △ 1.1      | 92.5             | △ 3.0      | 101.3            | △ 0.1      | 107.9            | 2.1        | 103.3            | △ 1.1      |
| 10~12月      | 90.9             | △ 2.4      | 98.0             | △ 3.6      | 90.9             | △ 1.7      | 97.3             | △ 3.9      | 107.4            | △ 0.5      | 104.0            | 0.7        |
| 2019年 2月    | 98.8             | 2.2        | 103.3            | 1.0        | 98.2             | 2.9        | 102.4            | 1.2        | 104.1            | 0.4        | 102.7            | 0.1        |
| 3月          | 97.0             | △ 1.8      | 102.8            | △ 0.5      | 95.7             | △ 2.5      | 101.3            | △ 1.1      | 106.1            | 1.9        | 103.4            | 0.7        |
| 4月          | 95.6             | △ 1.4      | 102.7            | △ 0.1      | 95.0             | △ 0.7      | 102.0            | 0.7        | 103.1            | △ 2.8      | 103.4            | 0.0        |
| 5月          | 97.2             | 1.7        | 104.2            | 1.5        | 96.3             | 1.4        | 102.8            | 0.8        | 104.5            | 1.4        | 103.8            | 0.4        |
| 6月          | 94.6             | △ 2.7      | 101.5            | △ 2.6      | 95.0             | △ 1.3      | 99.5             | △ 3.2      | 105.7            | 1.1        | 104.4            | 0.6        |
| 7月          | 93.9             | △ 0.7      | 102.2            | 0.7        | 93.7             | △ 1.4      | 102.0            | 2.5        | 107.1            | 1.3        | 104.3            | △ 0.1      |
| 8月          | 93.0             | △ 1.0      | 100.5            | △ 1.7      | 92.2             | △ 1.6      | 100.0            | △ 2.0      | 102.5            | △ 4.3      | 104.2            | △ 0.1      |
| 9月          | 92.4             | △ 0.6      | 102.4            | 1.9        | 91.5             | △ 0.8      | 101.8            | 1.8        | 107.9            | 5.3        | 103.3            | △ 0.9      |
| 10月         | 90.0             | △ 2.6      | 98.3             | △ 4.0      | 91.2             | △ 0.3      | 98.2             | △ 3.5      | 105.5            | △ 2.2      | 104.1            | 0.8        |
| 11月         | 92.0             | 2.2        | 97.7             | △ 0.6      | 91.6             | 0.4        | 96.8             | △ 1.4      | 106.2            | 0.7        | 103.6            | △ 0.5      |
| 12月         | 90.7             | △ 1.4      | 97.9             | 0.2        | 89.8             | △ 2.0      | 97.0             | 0.2        | 107.4            | 1.1        | 104.0            | 0.4        |
| 2020年 1月    | r 90.5           | △ 0.2      | 99.8             | 1.9        | r 89.4           | △ 0.4      | 97.9             | 0.9        | r 105.4          | △ 1.9      | 106.2            | 2.1        |
| 2月          | p 91.3           | 0.9        | 99.5             | △ 0.3      | p 89.7           | 0.3        | 98.9             | 1.0        | p 108.5          | 2.9        | 104.4            | △ 1.7      |

資料 経済産業省、北海道経済産業局

■ 鉱工業生産指数の年度は原指数による。  
■ 「P」は速報値、「R」は修正値。

| 年月          | 百貨店・スーパー販売額 |              |         |              |         |              |        |              |         |              |         |              |
|-------------|-------------|--------------|---------|--------------|---------|--------------|--------|--------------|---------|--------------|---------|--------------|
|             | 百貨店・スーパー計   |              |         |              | 百貨店     |              |        |              | スーパー    |              |         |              |
|             | 北海道         |              | 全国      |              | 北海道     |              | 全国     |              | 北海道     |              | 全国      |              |
|             | 百万円         | 前年同<br>月比(%) | 億円      | 前年同<br>月比(%) | 百万円     | 前年同<br>月比(%) | 億円     | 前年同<br>月比(%) | 百万円     | 前年同<br>月比(%) | 億円      | 前年同<br>月比(%) |
| 2015年度      | 961,554     | 3.3          | 199,400 | 2.7          | 210,190 | 0.3          | 67,923 | 1.3          | 751,365 | 4.0          | 131,477 | 3.3          |
| 2016年度      | 953,907     | 0.4          | 195,260 | △ 1.1        | 202,849 | △ 3.5        | 65,607 | △ 3.4        | 751,058 | 1.6          | 129,653 | 0.0          |
| 2017年度      | 962,121     | 0.9          | 196,252 | 0.5          | 201,291 | △ 0.8        | 65,354 | △ 0.4        | 760,830 | 1.3          | 130,898 | 1.0          |
| 2018年度      | 965,871     | 0.4          | 195,477 | △ 0.4        | 200,459 | △ 0.4        | 63,981 | △ 2.1        | 765,411 | 0.6          | 131,497 | 0.5          |
| 2018年10~12月 | 261,449     | 0.0          | 53,124  | △ 0.7        | 57,507  | 0.5          | 18,353 | △ 1.8        | 203,942 | △ 0.2        | 34,771  | △ 0.2        |
| 2019年1~3月   | 237,268     | 0.1          | 47,206  | △ 1.2        | 51,113  | △ 0.3        | 15,615 | △ 2.8        | 186,155 | 0.2          | 31,591  | △ 0.4        |
| 4~6月        | 232,053     | 0.4          | 46,976  | △ 0.6        | 45,037  | △ 2.0        | 14,973 | △ 2.0        | 187,016 | 1.0          | 32,003  | 0.1          |
| 7~9月        | 240,118     | 1.8          | 48,860  | 2.0          | 48,267  | 5.2          | 15,614 | 6.0          | 191,851 | 0.9          | 33,247  | 0.3          |
| 10~12月      | 252,406     | △ 3.5        | 50,920  | △ 4.1        | 53,129  | △ 7.6        | 16,777 | △ 8.6        | 199,276 | △ 2.3        | 34,142  | △ 1.8        |
| 2019年 2月    | 74,198      | 0.6          | 14,350  | △ 1.5        | 15,556  | △ 0.6        | 4,604  | △ 2.1        | 58,642  | 0.9          | 9,746   | △ 1.2        |
| 3月          | 81,565      | 0.2          | 16,529  | 0.9          | 17,478  | △ 1.3        | 5,625  | △ 1.5        | 64,087  | 0.6          | 10,904  | 2.2          |
| 4月          | 76,531      | △ 0.7        | 15,359  | △ 1.3        | 14,624  | △ 3.2        | 4,899  | △ 2.1        | 61,907  | △ 0.1        | 10,460  | △ 0.9        |
| 5月          | 77,309      | 0.6          | 15,636  | △ 0.2        | 14,940  | △ 0.7        | 4,854  | △ 1.8        | 62,370  | 0.9          | 10,782  | 0.6          |
| 6月          | 78,213      | 1.1          | 15,982  | △ 0.3        | 15,473  | △ 2.2        | 5,221  | △ 2.1        | 62,739  | 2.0          | 10,761  | 0.6          |
| 7月          | 78,630      | △ 3.2        | 16,246  | △ 4.4        | 15,909  | △ 5.2        | 5,416  | △ 3.6        | 62,722  | △ 2.7        | 10,830  | △ 4.9        |
| 8月          | 80,222      | 0.1          | 15,893  | 0.9          | 14,927  | △ 2.4        | 4,578  | 1.4          | 65,295  | 0.7          | 11,315  | 0.7          |
| 9月          | 81,266      | 9.0          | 16,721  | 10.5         | 17,431  | 26.5         | 5,619  | 22.2         | 63,835  | 5.0          | 11,101  | 5.4          |
| 10月         | 72,260      | △ 6.3        | 14,572  | △ 8.1        | 13,906  | △ 14.4       | 4,269  | △ 17.2       | 58,354  | △ 4.1        | 10,303  | △ 3.7        |
| 11月         | 78,204      | △ 2.2        | 16,113  | △ 2.0        | 16,477  | △ 6.5        | 5,453  | △ 5.8        | 61,727  | △ 1.0        | 10,660  | 0.1          |
| 12月         | 101,942     | △ 2.3        | 20,234  | △ 2.8        | 22,746  | △ 3.8        | 7,055  | △ 4.7        | 79,196  | △ 1.9        | 13,179  | △ 1.8        |
| 2020年 1月    | 80,992      | △ 0.6        | 16,064  | △ 1.6        | 17,643  | △ 2.4        | 5,211  | △ 3.3        | 63,350  | △ 0.1        | 10,853  | △ 0.8        |
| 2月          | 72,580      | △ 2.2        | 14,389  | 0.3          | 12,140  | △ 22.0       | 4,060  | △ 11.8       | 60,439  | 3.1          | 10,329  | 6.0          |

資料 経済産業省、北海道経済産業局

■ 百貨店・スーパー販売額の前年同月比は全店ベースによる。  
■ 「P」は速報値、「R」は修正値。



| 年月          | 専門量販店販売額       |          |        |          |         |          |        |          |         |          |        |          |
|-------------|----------------|----------|--------|----------|---------|----------|--------|----------|---------|----------|--------|----------|
|             | 家電大型専門店        |          |        |          | ドラッグストア |          |        |          | ホームセンター |          |        |          |
|             | 北海道            |          | 全国     |          | 北海道     |          | 全国     |          | 北海道     |          | 全国     |          |
|             | 百万円            | 前年同月比(%) | 億円     | 前年同月比(%) | 百万円     | 前年同月比(%) | 億円     | 前年同月比(%) | 百万円     | 前年同月比(%) | 億円     | 前年同月比(%) |
| 2015年度      | 136,816        | 5.2      | 42,288 | 1.2      | 229,820 | 9.3      | 54,776 | 9.2      | 131,589 | 2.4      | 33,159 | 2.0      |
| 2016年度      | 136,978        | 0.1      | 41,984 | △ 0.7    | 242,714 | 5.6      | 57,729 | 5.3      | 129,492 | △ 1.6    | 33,040 | △ 0.4    |
| 2017年度      | 141,377        | 3.2      | 43,348 | 3.3      | 255,331 | 5.3      | 61,503 | 6.4      | 130,289 | 0.6      | 32,908 | △ 0.4    |
| 2018年度      | 144,984        | 2.6      | 44,203 | 2.1      | 265,867 | 4.3      | 64,667 | 5.3      | 133,977 | 2.8      | 32,775 | △ 0.4    |
| 2018年10~12月 | 38,627         | 3.0      | 11,514 | 2.2      | 65,937  | 3.3      | 16,359 | 4.8      | 37,029  | 4.4      | 8,773  | 0.6      |
| 2019年1~3月   | 38,146         | 3.4      | 11,223 | 2.7      | 67,361  | 5.4      | 16,105 | 5.0      | 25,364  | 1.3      | 7,134  | △ 1.1    |
| 4~6月        | 33,269         | 4.2      | 10,593 | 5.2      | 68,395  | 5.5      | 17,041 | 5.1      | 37,642  | 1.9      | 8,594  | △ 0.2    |
| 7~9月        | 44,938         | 23.8     | 13,316 | 16.8     | 72,351  | 6.9      | 18,128 | 9.7      | 35,634  | 2.9      | 8,636  | 4.6      |
| 10~12月      | 34,192         | △ 11.5   | 10,322 | △ 10.3   | 70,152  | 6.4      | 17,082 | 2.7      | 34,211  | △ 7.6    | 8,384  | △ 4.4    |
| 2019年 2月    | 10,215         | 2.7      | 3,084  | 0.6      | 22,482  | 5.1      | 5,093  | 4.3      | 7,514   | 3.0      | 2,139  | △ 1.4    |
| 3月          | 14,872         | 6.2      | 4,277  | 6.3      | 20,823  | 4.9      | 5,668  | 5.8      | 9,570   | 0.9      | 2,632  | 0.1      |
| 4月          | 10,687         | △ 1.0    | 3,364  | 0.9      | 22,440  | 4.5      | 5,580  | 3.5      | 12,173  | △ 1.0    | 2,870  | △ 3.5    |
| 5月          | 10,952         | 6.1      | 3,477  | 7.3      | 22,379  | 6.3      | 5,706  | 6.0      | 13,816  | 4.4      | 3,040  | 3.0      |
| 6月          | 11,630         | 7.7      | 3,752  | 7.3      | 23,576  | 5.6      | 5,755  | 5.6      | 11,653  | 2.0      | 2,684  | △ 0.1    |
| 7月          | 12,345         | △ 4.3    | 4,046  | △ 10.4   | 23,262  | 4.2      | 5,878  | 2.0      | 11,371  | △ 2.3    | 2,724  | △ 7.1    |
| 8月          | 14,190         | 24.5     | 4,116  | 17.6     | 24,259  | 4.7      | 5,881  | 6.4      | 11,713  | 4.3      | 2,866  | 4.7      |
| 9月          | 18,403         | 53.3     | 5,154  | 52.4     | 24,830  | 11.8     | 6,370  | 21.8     | 12,550  | 6.7      | 3,045  | 17.5     |
| 10月         | 8,821          | △ 18.6   | 2,659  | △ 14.2   | 24,956  | 15.4     | 5,420  | 0.2      | 10,273  | △ 10.9   | 2,550  | △ 7.1    |
| 11月         | 10,599         | △ 7.8    | 3,185  | △ 5.5    | 21,606  | △ 0.4    | 5,467  | 3.4      | 11,093  | △ 5.0    | 2,629  | △ 2.1    |
| 12月         | 14,772         | △ 9.4    | 4,478  | △ 11.2   | 23,590  | 4.3      | 6,195  | 4.4      | 12,845  | △ 7.0    | 3,205  | △ 4.2    |
| 2020年 1月    | 13,432         | 2.9      | 3,851  | △ 0.3    | 24,475  | 1.7      | 5,683  | 6.3      | 8,188   | △ 1.1    | 2,326  | △ 1.5    |
| 2月          | 10,251         | 0.4      | 3,245  | 5.2      | 24,534  | 9.1      | 6,064  | 19.1     | 7,918   | 5.4      | 2,347  | 9.7      |
| 資料          | 経済産業省、北海道経済産業局 |          |        |          |         |          |        |          |         |          |        |          |

■専門量販店販売額は2014年1月から調査を実施。

| 年月          | コンビニエンスストア販売額  |          |         |          | 消費支出 (二人以上の世帯) |          |         |          | 来道者数      |          | 外国人入国者数 |          |
|-------------|----------------|----------|---------|----------|----------------|----------|---------|----------|-----------|----------|---------|----------|
|             | 北海道            |          | 全国      |          | 北海道            |          | 全国      |          | 北海道       |          | 北海道     |          |
|             | 百万円            | 前年同月比(%) | 億円      | 前年同月比(%) | 円              | 前年同月比(%) | 円       | 前年同月比(%) | 千人        | 前年同月比(%) | 千人      | 前年同月比(%) |
| 2015年度      | 544,969        | 3.1      | 111,279 | 5.5      | 255,058        | △ 1.7    | 285,588 | △ 0.9    | 12,823    | 4.2      | 1,243   | 33.7     |
| 2016年度      | 555,104        | 1.9      | 115,183 | 3.4      | 260,403        | 2.1      | 281,038 | △ 1.6    | 13,501    | 5.3      | 1,394   | 12.1     |
| 2017年度      | 565,731        | 1.9      | 118,019 | 2.3      | 264,433        | 1.5      | 284,587 | 1.3      | 13,777    | 2.0      | 1,736   | 24.5     |
| 2018年度      | 573,408        | 1.4      | 120,505 | 2.1      | 255,210        | △ 3.5    | 289,007 | 1.6      | 13,546    | △ 1.7    | 1,884   | 8.5      |
| 2018年10~12月 | 143,943        | 0.3      | 30,268  | 1.6      | 270,258        | △ 5.7    | 300,236 | 2.1      | 3,251     | △ 0.9    | 447     | 1.1      |
| 2019年1~3月   | 134,919        | 1.8      | 28,692  | 2.6      | 259,556        | △ 2.3    | 292,284 | 2.4      | 3,130     | 2.7      | 566     | 10.6     |
| 4~6月        | 144,525        | 2.5      | 30,352  | 2.3      | 273,601        | 11.3     | 292,973 | 4.2      | 3,443     | 3.8      | 442     | 9.7      |
| 7~9月        | 155,664        | 1.4      | 31,912  | 0.1      | 267,476        | 9.1      | 294,987 | 4.5      | 4,173     | 8.4      | 440     | △ 6.0    |
| 10~12月      | 147,470        | 2.5      | 30,885  | 2.0      | 287,317        | 6.3      | 293,272 | △ 2.3    | 3,337     | 2.6      | 413     | △ 7.4    |
| 2019年 2月    | 42,721         | 2.6      | 9,003   | 3.8      | 250,572        | 6.1      | 271,232 | 2.1      | 996       | △ 0.2    | 204     | 10.6     |
| 3月          | 46,754         | 0.7      | 10,126  | 1.6      | 273,755        | △ 5.0    | 309,274 | 2.7      | 1,129     | 3.6      | 150     | 4.8      |
| 4月          | 46,615         | 2.8      | 9,977   | 2.6      | 279,744        | 13.3     | 301,136 | 2.3      | 1,037     | 4.7      | 127     | 6.5      |
| 5月          | 49,155         | 3.5      | 10,258  | 2.8      | 270,819        | 6.5      | 300,901 | 7.0      | 1,196     | 7.1      | 149     | 10.4     |
| 6月          | 48,755         | 1.1      | 10,116  | 1.4      | 270,241        | 14.4     | 276,882 | 3.5      | 1,210     | 0.2      | 166     | 11.5     |
| 7月          | 52,697         | 0.1      | 10,760  | △ 1.3    | 253,167        | 2.3      | 288,026 | 1.6      | 1,299     | △ 0.1    | 201     | 1.9      |
| 8月          | 53,467         | 2.9      | 10,950  | 1.9      | 262,487        | 4.0      | 296,327 | 1.3      | 1,531     | △ 0.1    | 143     | △ 20.4   |
| 9月          | 49,500         | 1.2      | 10,203  | △ 0.2    | 286,775        | 21.7     | 300,609 | 10.8     | 1,343     | 32.0     | 96      | 5.4      |
| 10月         | 49,299         | 4.7      | 10,314  | 3.3      | 285,471        | 10.7     | 279,671 | △ 3.7    | 1,177     | 4.0      | 112     | △ 6.7    |
| 11月         | 46,937         | 1.7      | 9,938   | 2.3      | 264,284        | △ 0.2    | 278,765 | △ 0.8    | 1,088     | 3.3      | 109     | △ 4.9    |
| 12月         | 51,234         | 1.0      | 10,633  | 0.6      | 312,196        | 8.3      | 321,380 | △ 2.4    | 1,072     | 0.5      | 192     | △ 9.3    |
| 2020年 1月    | 46,098         | 1.4      | 9,714   | 1.6      | 259,207        | 1.9      | 287,173 | △ 3.1    | 1,008     | 0.4      | 191     | △ 9.8    |
| 2月          | 44,182         | 3.4      | 9,308   | 3.4      | 255,240        | 1.9      | 271,735 | 0.2      | 922       | △ 7.5    | 94      | △ 54.1   |
| 資料          | 経済産業省、北海道経済産業局 |          |         |          | 総務省、北海道        |          |         |          | 北海道観光振興機構 |          | 法務省     |          |

■コンビニエンスストア販売額の前年同月比は全店ベースによる。 ■年度および四半期の数値は月平均値。 ■「P」は速報値。

# 主要経済指標 (3)

| 年月          | 乗用車新車登録台数                      |          |        |          |        |          |        |          |           |          |
|-------------|--------------------------------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|-----------|----------|
|             | 北海道                            |          |        |          |        |          |        |          | 全国        |          |
|             | 合計                             |          | 普通車    |          | 小型車    |          | 軽乗用車   |          | 普・小・軽・計   |          |
|             | 台                              | 前年同月比(%) | 台      | 前年同月比(%) | 台      | 前年同月比(%) | 台      | 前年同月比(%) | 台         | 前年同月比(%) |
| 2015年度      | 168,708                        | △ 6.0    | 55,161 | 8.3      | 59,390 | △ 1.6    | 54,157 | △20.5    | 4,115,436 | △ 7.6    |
| 2016年度      | 176,018                        | 4.3      | 60,899 | 10.4     | 62,474 | 5.2      | 52,645 | △ 2.8    | 4,243,393 | 3.1      |
| 2017年度      | 183,770                        | 4.4      | 62,807 | 3.1      | 63,443 | 1.6      | 57,520 | 9.3      | 4,349,778 | 2.5      |
| 2018年度      | 178,533                        | △ 2.8    | 61,208 | △ 2.5    | 60,841 | △ 4.1    | 56,484 | △ 1.8    | 4,363,608 | 0.3      |
| 2018年10~12月 | 37,391                         | 0.3      | 13,146 | 7.2      | 12,348 | △ 3.1    | 11,897 | △ 3.0    | 1,023,851 | 5.1      |
| 2019年1~3月   | 49,162                         | △ 3.0    | 17,879 | △ 5.5    | 15,187 | △ 0.2    | 16,096 | △ 2.6    | 1,276,359 | △ 2.1    |
| 4~6月        | 47,083                         | 1.2      | 15,963 | 8.7      | 16,838 | △ 4.2    | 14,282 | 0.2      | 1,009,343 | 2.1      |
| 7~9月        | 48,081                         | 5.7      | 16,656 | 7.5      | 16,041 | 1.9      | 15,384 | 8.1      | 1,155,457 | 7.5      |
| 10~12月      | 31,171                         | △16.6    | 11,062 | △15.9    | 10,235 | △17.1    | 9,874  | △17.0    | 859,932   | △16.0    |
| 2019年 2月    | 13,877                         | 1.6      | 4,933  | 2.3      | 4,155  | 0.1      | 4,789  | 2.1      | 401,376   | △ 0.1    |
| 3月          | 23,970                         | △ 5.3    | 9,090  | △11.4    | 7,512  | 1.2      | 7,368  | △ 3.3    | 532,506   | △ 5.3    |
| 4月          | 15,655                         | 8.7      | 5,036  | 15.6     | 5,933  | 6.9      | 4,686  | 4.3      | 314,950   | 3.3      |
| 5月          | 14,474                         | 0.8      | 4,883  | 7.0      | 4,786  | △10.1    | 4,805  | 7.6      | 327,418   | 6.4      |
| 6月          | 16,954                         | △ 4.5    | 6,044  | 4.8      | 6,119  | △ 8.6    | 4,791  | △ 9.5    | 366,975   | △ 2.2    |
| 7月          | 16,610                         | △ 3.2    | 5,624  | △ 1.1    | 6,298  | △ 3.1    | 4,688  | △ 5.9    | 379,422   | 2.9      |
| 8月          | 12,866                         | 1.0      | 4,419  | 0.7      | 4,070  | △ 7.5    | 4,377  | 10.7     | 317,179   | 4.9      |
| 9月          | 18,605                         | 19.5     | 6,613  | 21.9     | 5,673  | 17.2     | 6,319  | 19.2     | 458,856   | 13.6     |
| 10月         | 10,013                         | △26.8    | 3,426  | △25.3    | 3,129  | △30.7    | 3,458  | △24.5    | 259,919   | △25.1    |
| 11月         | 11,383                         | △11.2    | 3,754  | △20.7    | 3,976  | △ 7.6    | 3,653  | △ 3.5    | 315,735   | △11.6    |
| 12月         | 9,775                          | △10.2    | 3,882  | 1.4      | 3,130  | △11.3    | 2,763  | △21.7    | 284,278   | △11.1    |
| 2020年 1月    | 10,298                         | △ 9.0    | 3,460  | △10.3    | 3,319  | △ 5.7    | 3,519  | △10.7    | 301,195   | △12.1    |
| 2月          | 12,608                         | △ 9.1    | 4,204  | △14.8    | 4,236  | 1.9      | 4,168  | △13.0    | 362,052   | △ 9.8    |
| 資料          | (社)日本自動車販売協会連合会、(社)全国軽自動車協会連合会 |          |        |          |        |          |        |          |           |          |

| 年月          | 新設住宅着工戸数 |          |       |          | 民間非居住用建築物着工床面積 |          |        |          | 機械受注実績  |          |
|-------------|----------|----------|-------|----------|----------------|----------|--------|----------|---------|----------|
|             | 北海道      |          | 全国    |          | 北海道            |          | 全国     |          | 全国      |          |
|             | 戸        | 前年同月比(%) | 百戸    | 前年同月比(%) | 千㎡             | 前年同月比(%) | 千㎡     | 前年同月比(%) | 億円      | 前年同月比(%) |
| 2015年度      | 34,329   | 6.5      | 9,205 | 4.6      | 1,762          | △ 0.4    | 44,098 | △ 2.0    | 101,838 | 4.1      |
| 2016年度      | 37,515   | 9.3      | 9,741 | 5.8      | 1,809          | 2.7      | 45,299 | 2.7      | 102,314 | 0.5      |
| 2017年度      | 37,062   | △ 1.2    | 9,464 | △ 2.8    | 1,983          | 9.6      | 47,293 | 4.4      | 101,480 | △ 0.8    |
| 2018年度      | 35,761   | △ 3.5    | 9,529 | 0.7      | 1,868          | △ 5.8    | 46,037 | △ 2.7    | 104,364 | 2.8      |
| 2018年10~12月 | 9,610    | △ 1.0    | 2,459 | 0.6      | 482            | 14.6     | 11,647 | 1.1      | 24,210  | 2.0      |
| 2019年1~3月   | 5,470    | △ 2.3    | 2,156 | 5.2      | 296            | 30.6     | 10,060 | △ 9.7    | 27,868  | △ 2.5    |
| 4~6月        | 10,155   | △ 3.9    | 2,335 | △ 4.7    | 524            | △ 6.8    | 11,730 | △ 3.4    | 26,620  | 4.1      |
| 7~9月        | 9,368    | △ 7.4    | 2,332 | △ 5.4    | 601            | 13.8     | 11,258 | △ 7.6    | 25,989  | △ 2.7    |
| 10~12月      | 7,631    | △20.6    | 2,228 | △ 9.4    | 351            | △27.2    | 10,534 | △ 9.6    | 23,846  | △ 1.5    |
| 2019年 2月    | 1,561    | 13.7     | 720   | 4.2      | 93             | 65.7     | 3,472  | △11.8    | 7,521   | △ 5.5    |
| 3月          | 2,443    | △13.2    | 766   | 10.0     | 108            | 4.0      | 2,966  | △18.6    | 13,653  | △ 0.7    |
| 4月          | 3,311    | △16.5    | 794   | △ 5.7    | 225            | 11.5     | 3,940  | △ 4.2    | 8,906   | 2.5      |
| 5月          | 2,979    | △ 9.2    | 726   | △ 8.7    | 133            | △35.3    | 3,633  | △ 5.1    | 7,623   | △ 3.7    |
| 6月          | 3,865    | 16.5     | 815   | 0.3      | 166            | 7.4      | 4,157  | △ 1.1    | 10,091  | 12.5     |
| 7月          | 3,443    | △ 2.8    | 792   | △ 4.1    | 274            | 39.0     | 4,416  | 2.2      | 8,251   | 0.3      |
| 8月          | 3,186    | △ 6.9    | 760   | △ 7.1    | 178            | 33.7     | 3,619  | △ 5.6    | 7,386   | △14.5    |
| 9月          | 2,739    | △13.1    | 779   | △ 4.9    | 148            | △24.7    | 3,223  | △20.0    | 10,352  | 5.1      |
| 10月         | 2,629    | △31.6    | 771   | △ 7.4    | 171            | 2.5      | 3,389  | △16.9    | 7,292   | △ 6.1    |
| 11月         | 2,573    | △19.1    | 735   | △12.7    | 121            | △17.3    | 3,348  | △ 9.7    | 8,153   | 5.3      |
| 12月         | 2,429    | △ 6.0    | 722   | △ 7.9    | 59             | △65.1    | 3,797  | △ 1.6    | 8,402   | △ 3.5    |
| 2020年 1月    | 1,241    | △15.3    | 603   | △10.1    | 38             | △59.6    | 2,636  | △27.2    | 6,675   | △ 0.3    |
| 2月          | 1,739    | 11.4     | 631   | △12.3    | 72             | △23.0    | 3,395  | △ 2.2    | 7,343   | △ 2.4    |
| 資料          | 国土交通省    |          |       |          | 国土交通省          |          |        |          | 内閣府     |          |

■「r」は修正値。

■船舶・電力を除く民需(原系列)。

主要経済指標 (4)

| 年月          | 公共工事請負金額          |              |         |              | 有効求人倍率<br>(常用)   |      | 新規求人数 (常用)      |              |         |              | 完全失業率            |     |
|-------------|-------------------|--------------|---------|--------------|------------------|------|-----------------|--------------|---------|--------------|------------------|-----|
|             | 北海道               |              | 全国      |              | 北海道              | 全国   | 北海道             |              | 全国      |              | 北海道              | 全国  |
|             | 百万円               | 前年同<br>月比(%) | 億円      | 前年同<br>月比(%) | 倍<br>原<br>数<br>値 |      | 人               | 前年同<br>月比(%) | 人       | 前年同<br>月比(%) | %<br>原<br>数<br>値 |     |
| 2015年度      | 770,811           | △11.9        | 139,678 | △ 3.8        | 0.96             | 1.11 | 31,181          | 4.2          | 769,387 | 4.1          | 3.5              | 3.3 |
| 2016年度      | 877,653           | 13.9         | 145,395 | 4.1          | 1.04             | 1.25 | 31,966          | 2.5          | 811,190 | 5.4          | 3.6              | 3.0 |
| 2017年度      | 883,110           | 0.6          | 139,081 | △ 4.3        | 1.11             | 1.38 | 32,434          | 1.5          | 853,671 | 5.2          | 3.2              | 2.7 |
| 2018年度      | 857,269           | △ 2.9        | 140,680 | 1.1          | 1.17             | 1.46 | 32,969          | 1.6          | 866,055 | 1.5          | 2.9              | 2.4 |
| 2018年10~12月 | 88,232            | △ 2.1        | 29,352  | 3.6          | 1.22             | 1.53 | 31,518          | 2.4          | 849,807 | 1.1          | 2.8              | 2.4 |
| 2019年1~3月   | 134,585           | 2.6          | 26,408  | 5.9          | 1.19             | 1.53 | 34,409          | 1.6          | 901,048 | 0.2          | 2.8              | 2.4 |
| 4~6月        | 468,085           | 7.2          | 51,012  | 4.2          | 1.14             | 1.37 | 33,636          | 1.1          | 845,931 | △ 1.6        | 3.0              | 2.4 |
| 7~9月        | 260,905           | 31.9         | 40,336  | 12.2         | 1.23             | 1.43 | 33,542          | 2.7          | 847,833 | △ 0.7        | 2.1              | 2.3 |
| 10~12月      | 98,048            | 11.1         | 30,629  | 4.4          | 1.28             | 1.49 | 30,935          | △ 1.8        | 833,572 | △ 1.9        | 2.4              | 2.2 |
| 2019年 2月    | 15,086            | △15.0        | 7,390   | 20.4         | 1.19             | 1.54 | 34,206          | 2.6          | 918,874 | 2.3          | 2.8              | 2.3 |
| 3月          | 110,271           | 7.8          | 13,165  | 3.7          | 1.19             | 1.50 | 34,458          | 0.6          | 850,621 | △ 5.0        | ↑                | 2.5 |
| 4月          | 157,316           | △ 1.3        | 22,329  | 2.5          | 1.12             | 1.38 | 35,963          | 3.4          | 868,833 | 0.2          | ↓                | 2.6 |
| 5月          | 171,851           | 10.9         | 14,204  | 10.5         | 1.13             | 1.35 | 32,651          | △ 0.2        | 841,376 | △ 1.8        | 3.0              | 2.4 |
| 6月          | 138,917           | 13.5         | 14,479  | 1.0          | 1.16             | 1.37 | 32,293          | △ 0.2        | 827,585 | △ 3.3        | ↓                | 2.3 |
| 7月          | 136,716           | 54.5         | 16,091  | 28.5         | 1.21             | 1.41 | 36,064          | 4.6          | 886,515 | 3.6          | ↑                | 2.3 |
| 8月          | 73,928            | 10.7         | 11,493  | 2.2          | 1.22             | 1.44 | 31,737          | △ 2.0        | 829,177 | △ 5.0        | 2.1              | 2.3 |
| 9月          | 50,260            | 18.4         | 12,751  | 4.6          | 1.26             | 1.45 | 32,826          | 5.4          | 827,806 | △ 0.6        | ↓                | 2.4 |
| 10月         | 54,497            | 18.6         | 13,480  | 5.1          | 1.27             | 1.45 | 36,703          | △ 0.1        | 920,103 | △ 2.6        | ↑                | 2.4 |
| 11月         | 29,734            | 10.9         | 9,110   | 11.3         | 1.28             | 1.48 | 29,116          | △ 7.0        | 801,742 | △ 5.8        | 2.4              | 2.2 |
| 12月         | 13,816            | △10.8        | 8,038   | △ 3.6        | 1.28             | 1.53 | 26,987          | 1.8          | 778,872 | 3.3          | ↓                | 2.1 |
| 2020年 1月    | 10,565            | 14.5         | 6,415   | 9.6          | 1.18             | 1.44 | 30,330          | △12.2        | 792,865 | △15.1        | —                | 2.3 |
| 2月          | 19,274            | 27.8         | 6,994   | △ 5.4        | 1.16             | 1.38 | 30,347          | △11.3        | 801,358 | △12.8        | —                | 2.3 |
| 資料          | 北海道建設業信用保証(株)ほか2社 |              |         |              | 厚生労働省<br>北海道労働局  |      | 厚生労働省<br>北海道労働局 |              |         |              | 総務省              |     |

■年度および四半期 ■年度及び四半期の数値は、月平均値。■年度の数値は四半期の平均値。  
の数値は月平均値。

| 年月          | 消費者物価指数 (生鮮食品除く総合) |              |           |              | 企業倒産件数<br>(負債総額1,000万円以上) |              |       |              | 円相場<br>(東京市場) | 日経平均<br>株価 |
|-------------|--------------------|--------------|-----------|--------------|---------------------------|--------------|-------|--------------|---------------|------------|
|             | 北海道                |              | 全国        |              | 北海道                       |              | 全国    |              |               |            |
|             | 2015年=100          | 前年同<br>月比(%) | 2015年=100 | 前年同<br>月比(%) | 件                         | 前年同<br>月比(%) | 件     | 前年同<br>月比(%) | 円/ドル          | 円<br>月(期)末 |
| 2015年度      | 99.8               | △ 0.5        | 100.0     | 0.0          | 265                       | △ 8.9        | 8,684 | △ 9.0        | 120.13        | 16,759     |
| 2016年度      | 99.6               | △ 0.2        | 99.7      | △ 0.2        | 279                       | 5.3          | 8,381 | △ 3.5        | 108.37        | 18,909     |
| 2017年度      | 100.9              | 1.3          | 100.4     | 0.7          | 263                       | △ 5.7        | 8,367 | △ 0.2        | 110.80        | 21,454     |
| 2018年度      | 102.3              | 1.4          | 101.2     | 0.8          | 224                       | △14.8        | 8,111 | △ 3.1        | 110.88        | 21,206     |
| 2018年10~12月 | 102.8              | 1.6          | 101.5     | 0.9          | 51                        | △21.5        | 2,070 | △ 1.7        | 112.87        | 20,015     |
| 2019年1~3月   | 102.1              | 0.9          | 101.3     | 0.8          | 58                        | △10.8        | 1,917 | △ 6.1        | 110.17        | 21,206     |
| 4~6月        | 102.7              | 0.7          | 101.7     | 0.8          | 64                        | 3.2          | 2,074 | △ 1.6        | 109.85        | 21,276     |
| 7~9月        | 102.8              | 0.5          | 101.6     | 0.5          | 47                        | △11.3        | 2,182 | 8.2          | 107.30        | 21,756     |
| 10~12月      | 103.6              | 0.7          | 102.1     | 0.6          | 44                        | △13.7        | 2,211 | 6.8          | 108.72        | 23,657     |
| 2019年 2月    | 102.1              | 0.9          | 101.3     | 0.7          | 16                        | △15.8        | 588   | △ 4.7        | 110.36        | 21,385     |
| 3月          | 102.3              | 0.8          | 101.5     | 0.8          | 26                        | △ 3.7        | 662   | △16.1        | 111.21        | 21,206     |
| 4月          | 102.8              | 1.0          | 101.8     | 0.9          | 16                        | 0.0          | 645   | △ 0.8        | 111.66        | 22,259     |
| 5月          | 102.8              | 0.8          | 101.8     | 0.8          | 23                        | △14.8        | 695   | △ 9.4        | 109.83        | 20,601     |
| 6月          | 102.6              | 0.4          | 101.6     | 0.6          | 25                        | 31.6         | 734   | 6.4          | 108.06        | 21,276     |
| 7月          | 102.6              | 0.4          | 101.5     | 0.6          | 15                        | △16.7        | 802   | 14.2         | 108.22        | 21,522     |
| 8月          | 102.7              | 0.5          | 101.7     | 0.5          | 21                        | 16.7         | 678   | △ 2.3        | 106.27        | 20,704     |
| 9月          | 103.0              | 0.5          | 101.6     | 0.3          | 11                        | △35.3        | 702   | 13.0         | 107.41        | 21,756     |
| 10月         | 103.4              | 0.5          | 102.0     | 0.4          | 12                        | △20.0        | 780   | 6.8          | 108.12        | 22,927     |
| 11月         | 103.6              | 0.7          | 102.2     | 0.5          | 15                        | △16.7        | 727   | 1.3          | 108.86        | 23,294     |
| 12月         | 103.7              | 1.1          | 102.2     | 0.7          | 17                        | △ 5.6        | 704   | 13.2         | 109.18        | 23,657     |
| 2020年 1月    | 103.4              | 1.3          | 102.0     | 0.8          | 21                        | 31.3         | 773   | 16.1         | 109.34        | 23,205     |
| 2月          | 103.4              | 1.3          | 101.9     | 0.6          | 16                        | 0.0          | 651   | 10.7         | 109.96        | 21,143     |
| 資料          | 総務省                |              |           |              | (株)東京商工リサーチ               |              |       |              | 日本銀行          | 日本経済新聞社    |

■年度及び四半期の数値は、月平均値。

■円相場は対米ドル、インターバンク中心相場の月中平均値。



---

ほくよう調査レポート 2020.5月号(No.286)  
令和2年(2020年)4月発行  
発行 株式会社 北洋銀行  
企画・制作 株式会社 北海道二十一世紀総合研究所 調査部  
電話 (011)231-8681

<本誌は、情報の提供のみを目的としています。投資などの最終判断は、ご自身でなされるようお願いいたします。>